

宇多津町地域公共交通計画（案）

宇 多 津 町

令和6年〇月

目次

計画の概要	1
宇多津町の地域の現状等	2
1 人口の動向	2
2 施設分布	4
3 観光	6
4 運転免許証の返納状況	8
宇多津町の公共交通の現況	9
1 現状の交通体系	9
2 交通の概況	9
地域公共交通に係るニーズの把握	26
1 住民アンケート調査	26
2 交通事業者へのアンケート調査	53
本町が抱える地域公共交通に関する問題・課題	57
基本方針・目標	59
目標達成のための施策	60

計画の概要

1 計画策定の目的

宇多津町地域公共交通計画は、地域が抱える課題やニーズを整理するとともに、社会情勢の変化に伴う新たな概念を取り入れながら、住民や事業者、行政をはじめとした関係者が一体となって、宇多津町コミュニティバスを中心とした本町の実情に応じた持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を戦略的に推進するために策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、本町のまちづくりの最上位計画となる「宇多津町総合計画」や、人口減少対策・地方創生の指針となる「第2期宇多津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえつつ、「宇多津町都市計画マスタープラン」などの関連計画との連携を図ります。

計画期間

計画の対象期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

計画の対象区域

宇多津町全域とします。

宇多津町の地域の現状等

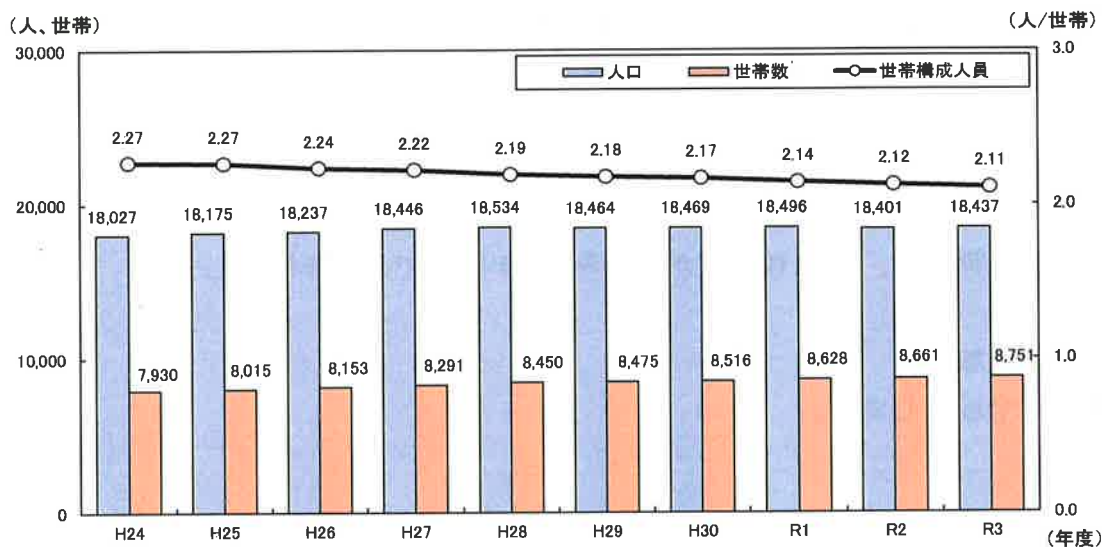
1 人口の動向

(1) 人口・世帯数の推移

本町の人口・世帯数の推移は、「人口・世帯数の推移」に示すとおりです。

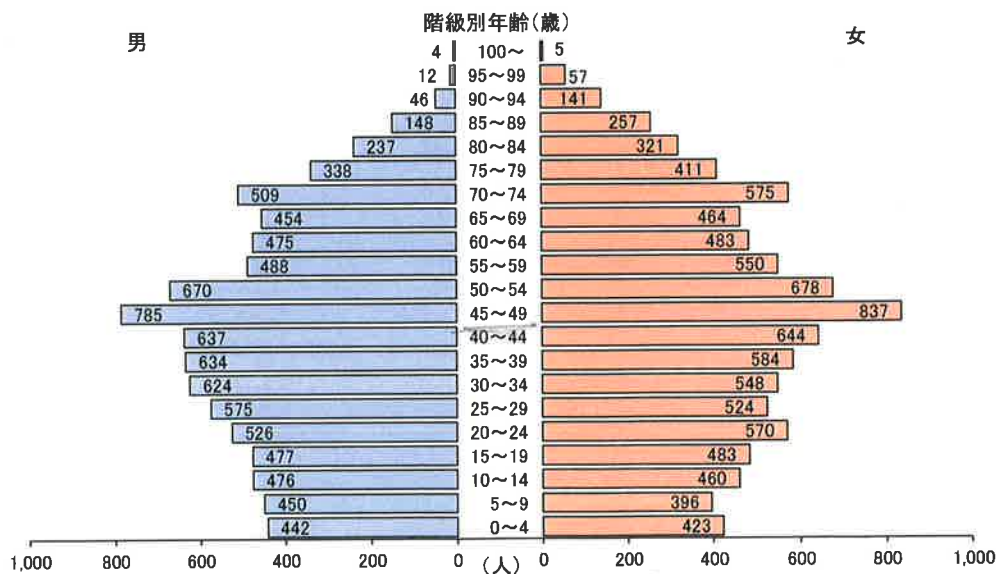
令和3年10月1日現在の人口は18,437人、世帯数は8,751世帯で、世帯構成人員は2.11人/世帯です。平成24年度に比べ、人口が約2%増加、世帯数が約10%増加しています。世帯構成人員は、若干減少傾向にあります。

また、令和3年10月1日現在の5歳階級別の年齢別人口は、「年齢別人口（令和3年10月1日現在）」に示すとおり、男女ともに45～49歳の団塊ジュニア世代が多くなっています。



出典: 宇多津町ホームページ「行政別人口」(10月1日現在)

人口・世帯数の推移



出典: 住民基本台帳(令和3年10月1日現在)

年齢別人口 (令和3年10月1日現在)

(2) 将来人口

「宇多津町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和3年3月改訂版）」においては、本町の将来展望人口を、2030（令和12）年に20,161人、2050（令和32）年に20,341人としています。

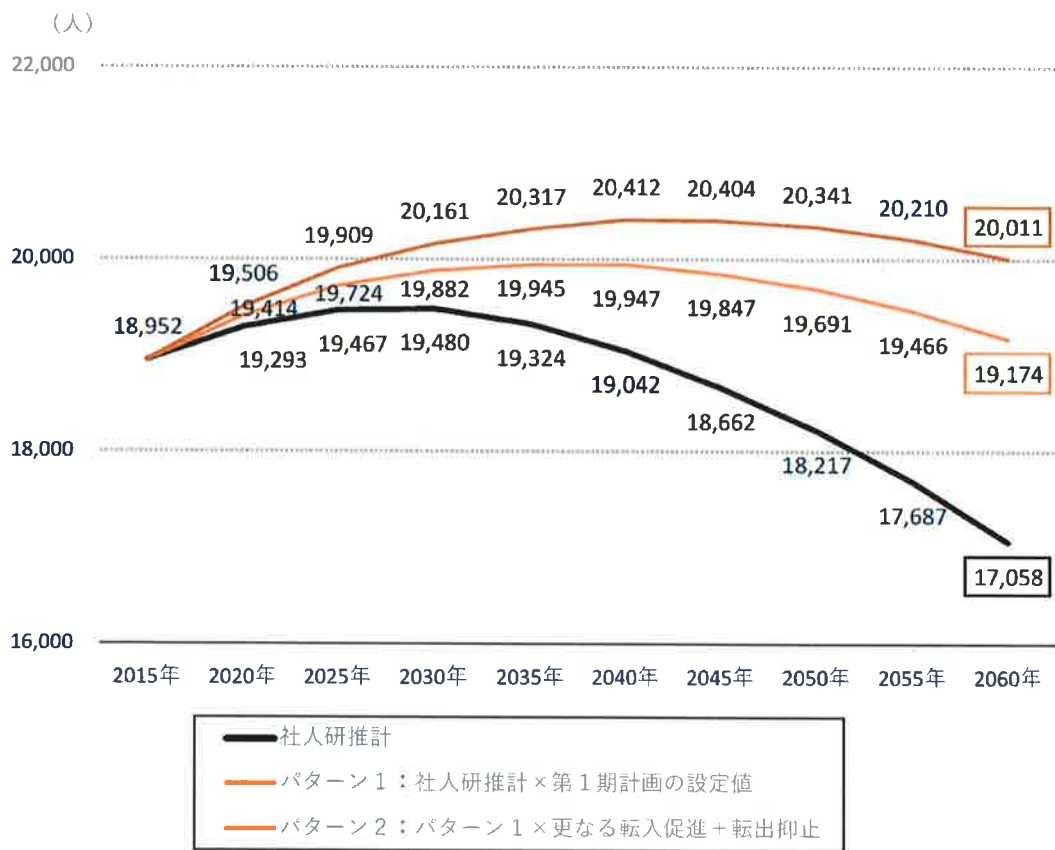
[本町の将来展望人口]

単位：人

	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
年少人口	3,022	3,054	3,129	3,273	3,498	3,540	3,368	3,355
生産年齢人口	12,650	12,612	12,389	11,823	11,469	11,314	11,300	11,321
高齢者人口	4,266	4,495	4,799	5,316	5,552	5,621	5,542	5,335
合計	19,909	20,161	20,317	20,412	20,404	20,341	20,210	20,011

※端数処理の関係等により合計は一致しない場合がある。

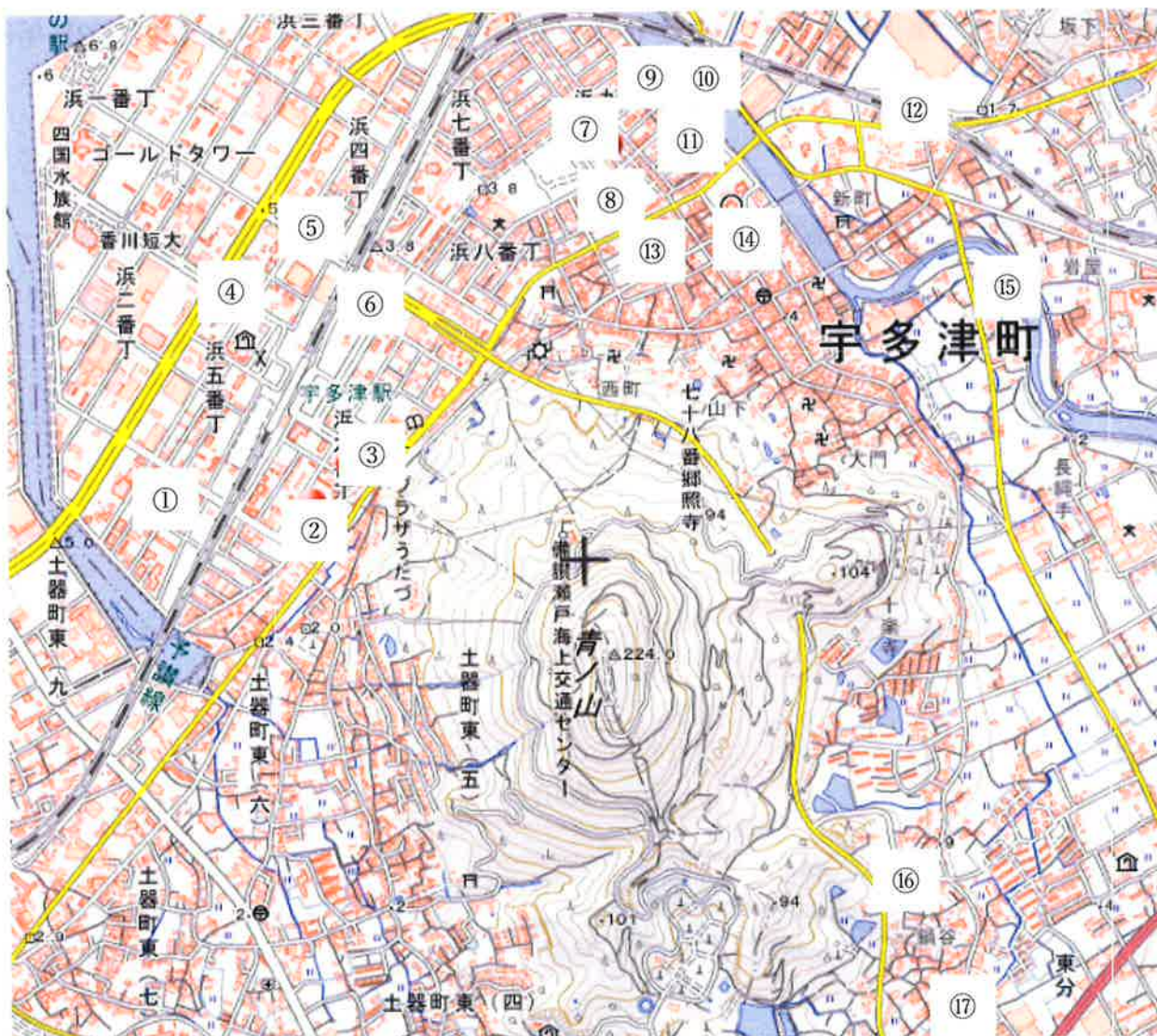
[本町の将来人口シミュレーション]



出典：宇多津町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和3年3月改訂版）

2 施設分布

(1) 町内の医療機関



出典：地理院地図

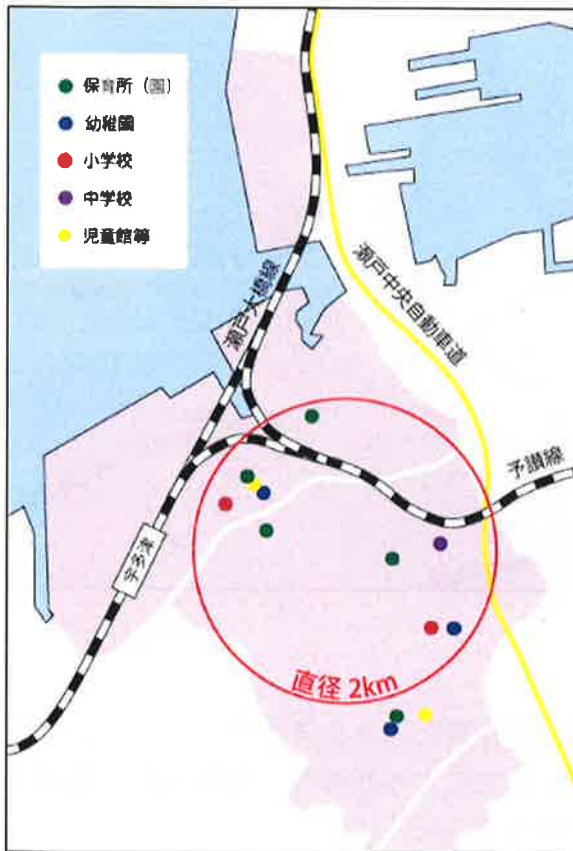
場所	病院名	診療科
①	宇多津病院	内科・整形外科・心療内科
②	松浦こどもメンタルクリニック	精神科
③	ごうだおとなこども歯科	歯科
④	大河原歯科・口腔外科	歯科
⑤	竹内歯科医院	歯科
⑥	いけうち小児科医院	小児科
⑦	くわはら医院	内科・外科
⑧	千羽眼科医院	眼科
⑨	さかい歯科医院	歯科
⑩	やましろクリニック	精神科
⑪	はしもとレディースクリニック	内科・外科・乳腺外科

⑫	ごうだ OCEAN 歯科	歯科
⑬	じょう 歯科医院	歯科
⑭	松山医院	内科
⑮	尾崎歯科医院	歯科
⑯	井上胃腸科肛門科クリニック	外科
⑰	森田歯科医院	歯科

(令和5年5月現在)

出典：移住・定住サイト「子育てするなら宇多津町」

(2) 町内の保育所・学校など



● 保育所 (園)

施設名	住所	連絡先
中央保育所	宇多津町1941-1	0877-49-0206
平山こども園	宇多津町2626-1	0877-49-0851
わかさきこども園	宇多津町936-1	0877-49-3011
わかさき北こども園	宇多津町浜八番丁111	0877-59-9671
あおやま保育園	宇多津町長編手605	0877-41-1021

● 幼稚園

施設名	住所	連絡先
宇多津町立宇多津幼稚園	宇多津町815	0877-49-0198
青山幼稚園	宇多津町長編手605	0877-49-0136
森川短期大学付属幼稚園	宇多津町浜八番丁113-2	0877-41-0500

● 小学校

施設名	住所	連絡先
宇多津町立宇多津北小学校	宇多津町浜八番丁115	0877-49-2000
宇多津町立宇多津小学校	宇多津町長編手815	0877-49-1620

● 中学校

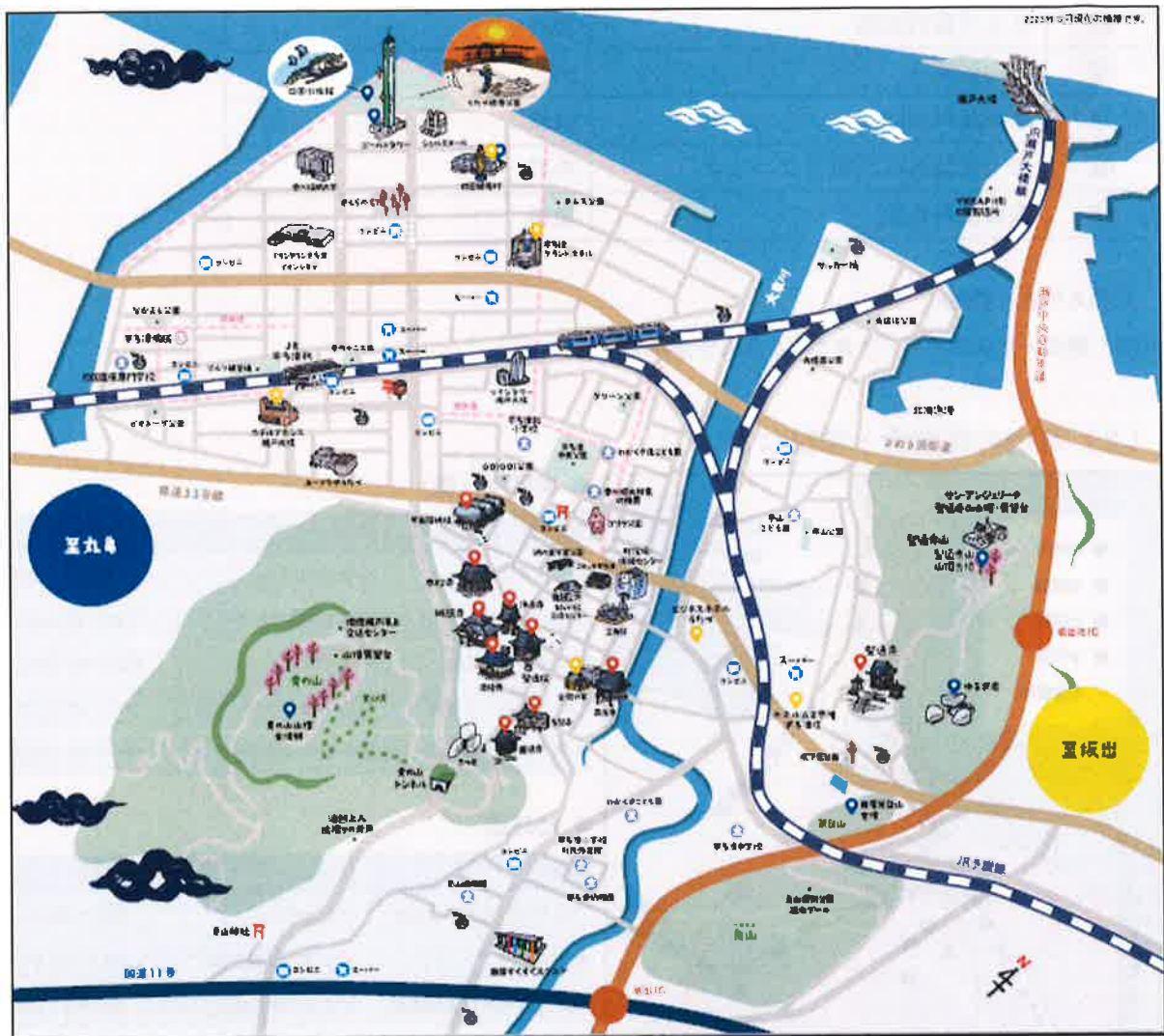
施設名	住所	連絡先
宇多津町立宇多津中学校	宇多津町3302	0877-49-0818

● 児童館等

施設名	住所	連絡先
宇多津町立キッズプラザたづ	宇多津町浜八番丁113-1	0877-49-4005
南館すくすくスクエア	宇多津町150	0877-85-8380

出典：移住・定住サイト「子育てするなら宇多津町」

3 観光



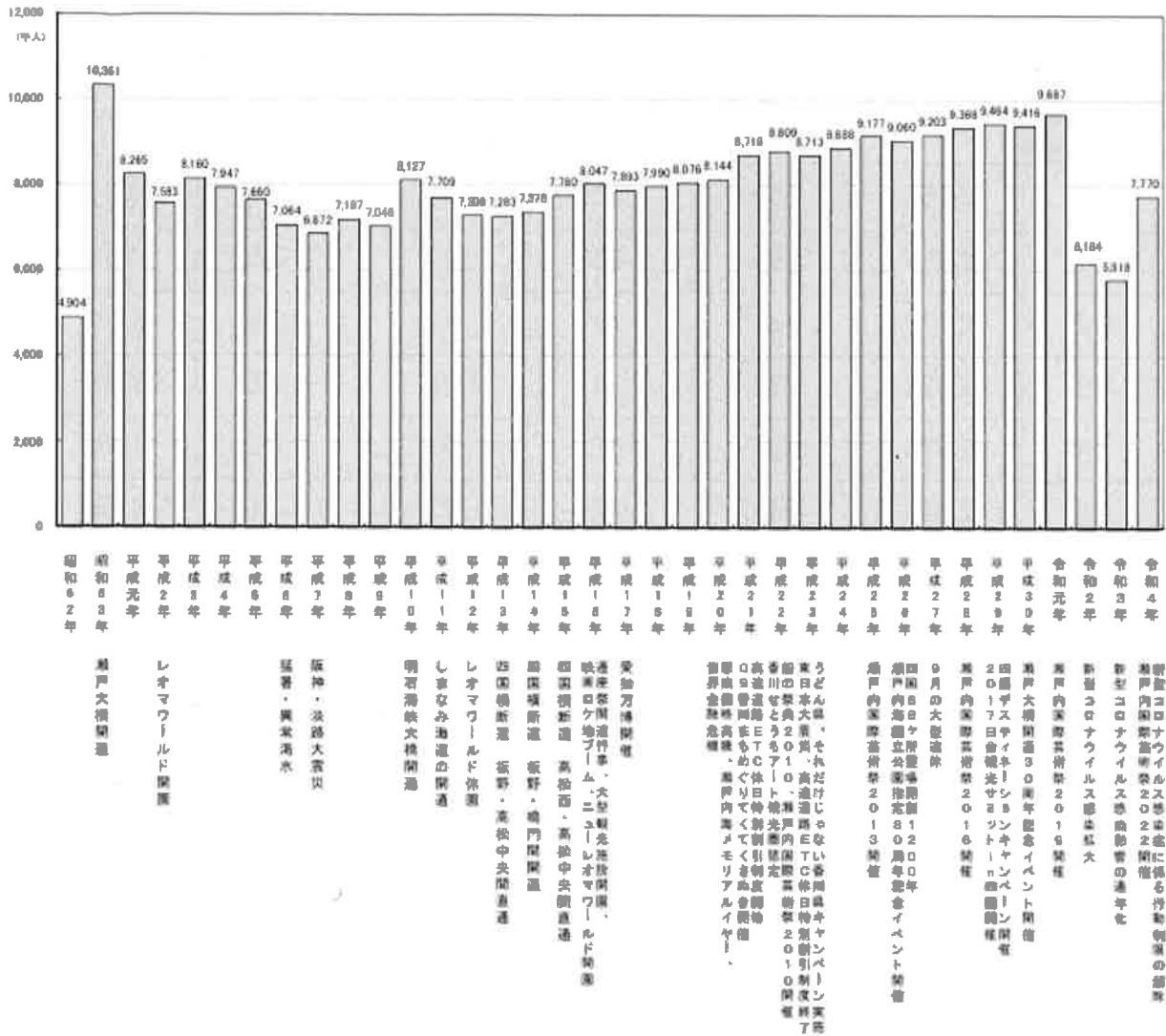
出典：宇多津ガイドマップ

県全体における近年の県外観光客入込数は、増加傾向にありました。一方で、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、昭和62年度以降2番目に少ない水準となる約62万人程度まで落ち込みました。

県内の主要な観光地として、金刀比羅宮、栗林公園、屋島等があります。また、町内では、四国霊場第78番札所の郷照寺をはじめとする歴史・文化的資源に加え、瀬戸内海等の自然資源、ゴールドタワー、四国水族館等の観光施設があります。

町内では「うたづの町家とおひなさん」等の個性あるイベントが開催され、多くの来訪者を集めています。

[県外観光客入込数の推移]



出典：令和4年香川県観光客動態調査報告（確定版）

4 運転免許証の返納状況

年	免許人口（前年末）		自主返納者		自主返納率	
	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上
H30	2,167	645	50	39	2.31%	6.05%
R1	2,254	690	80	47	3.55%	6.81%
R2	2,277	736	70	49	3.1%	6.7%
R3	2,322	732	34	26	1.5%	3.6%
R4	2,395	756	47	33	2.0%	4.4%
R5	2,449	848	42	27	1.7%	3.2%
合計	—	—	323	221	—	—
年平均	—	—	53.8	36.8	—	—

出典：香川県くらし安全安心課

宇多津町の公共交通の現況

1 現状の交通体系

当町の公共交通は、鉄道線（2路線）、宇多津町コミュニティバス（4路線）、丸亀コミュニティバス（3路線）、うたまちシャトル（1路線）、空港リムジンバス（1路線）、高速バス2事業者、タクシー5事業者が運行しています。

2 交通の概況

※路線図、運行本数等については、令和5年7月現在となっています。

(1) 鉄道

(a) JR路線図



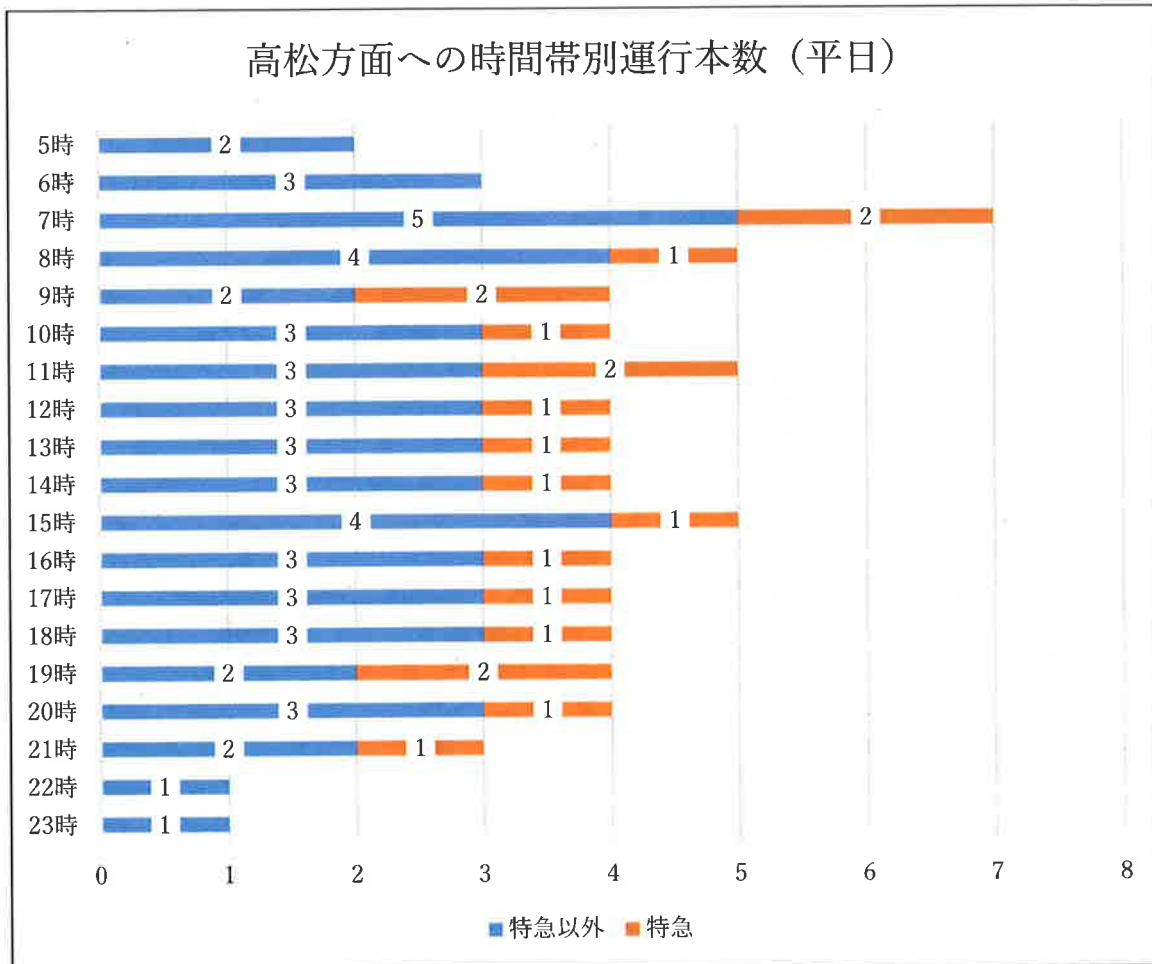
出典：地理院地図

(b) 運行状況

町内には、JR 予讃線宇多津駅が設置されています。所属線である予讃線と、宇多津駅を終点とする本四備讃線の2路線が乗り入れ、隣の坂出駅とともに、本州側から見た四国の玄関口となっています。

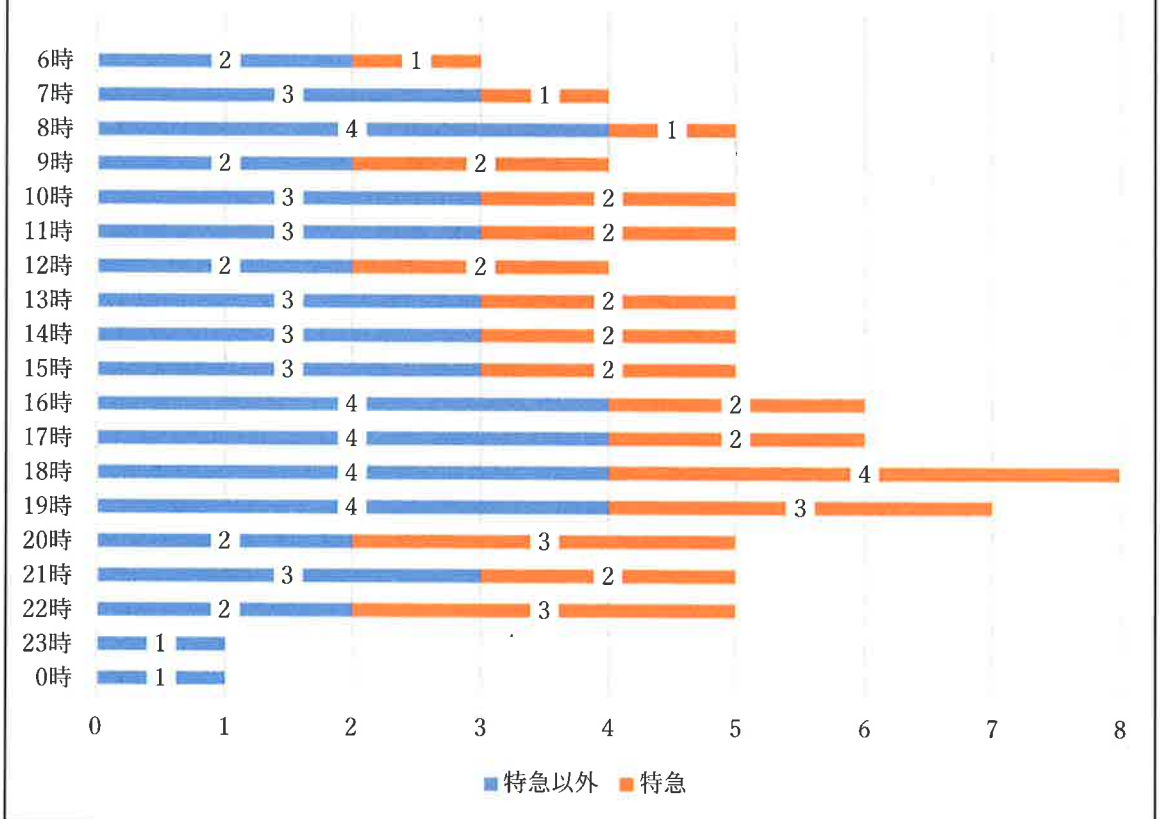
高松方面、多度津・観音寺・松山・琴平・高知方面へは、普通・快速が発車しており、平日の日中は1時間に4～5本程度、運行しています。

岡山方面へは、特急のみ発車しており、平日の日中は1時間に2本程度、運行しています。



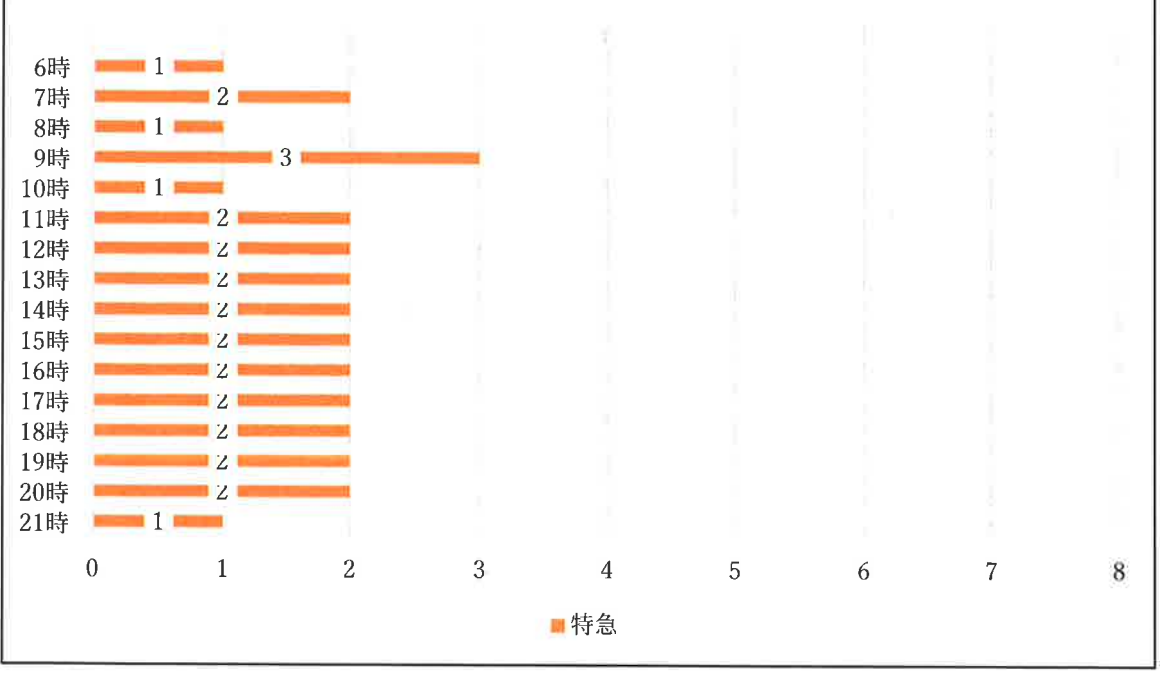
出典：四国旅客鉄道株式会社ホームページより作成

多度津・観音寺・松山・琴平・高知方面への時間帯別運行本数（平日）



出典：四国旅客鉄道株式会社ホームページより作成

岡山方面への時間帯別運行本数（平日）



出典：四国旅客鉄道株式会社ホームページより作成

(c) 利用状況

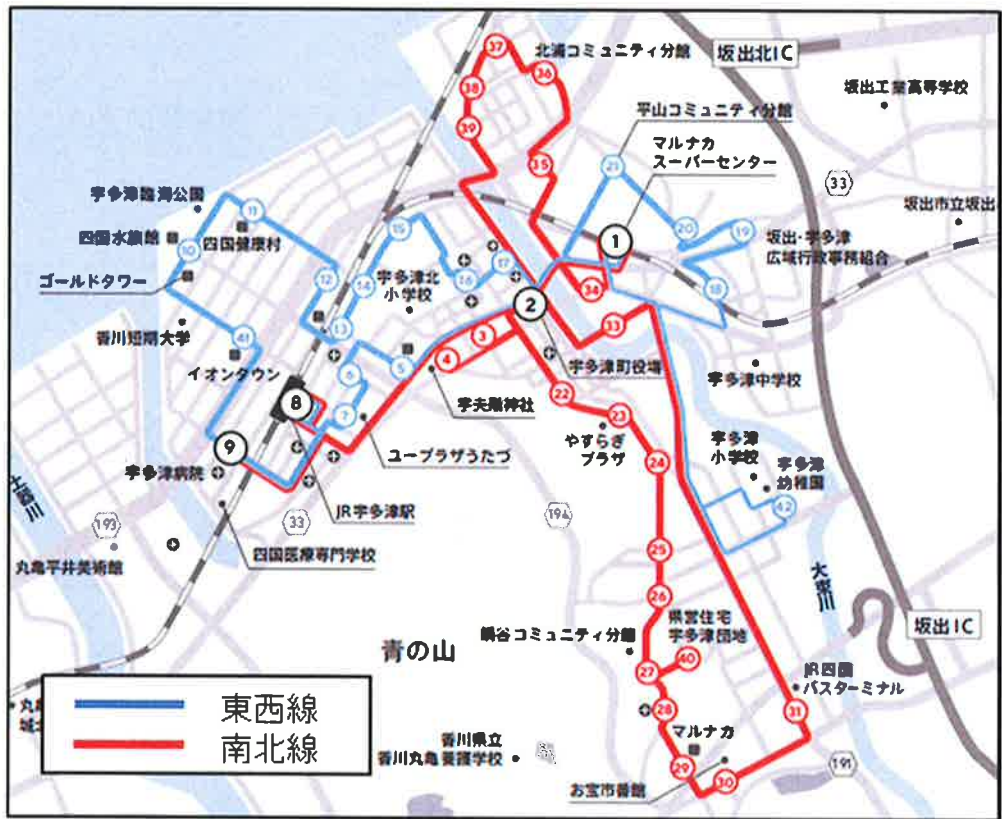
JR宇多津駅の日平均乗降者数は、2019年までは、2014年を除いて増加、おおむね横ばいでしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年は減少に転じ、2021年以降は、回復基調となっています。



出典：四国旅客鉄道株式会社への聞き取りにより作成

(2) 宇多津町コミュニティバス

(a) 路線図



出典：宇多津町

(b) 運行状況

宇多津町コミュニティバスは、令和2年10月より試行運行にて行っています。マルナカスーパーセンター宇多津店を起終点として、町内を南北線（右回り・左回り）、東西線（右回り・左回り）の4系統となっています。

日曜日・祝日・年末年始を除く平日・土曜日に、1日11便運行しています。

(c) 運賃

分類	乗車料金 (一乗車につき)	回数券 (11回分乗車券)
大人	200円	2,000円
小学生	100円	1,000円
障がい者		
小学生未満	無料	

出典：宇多津町

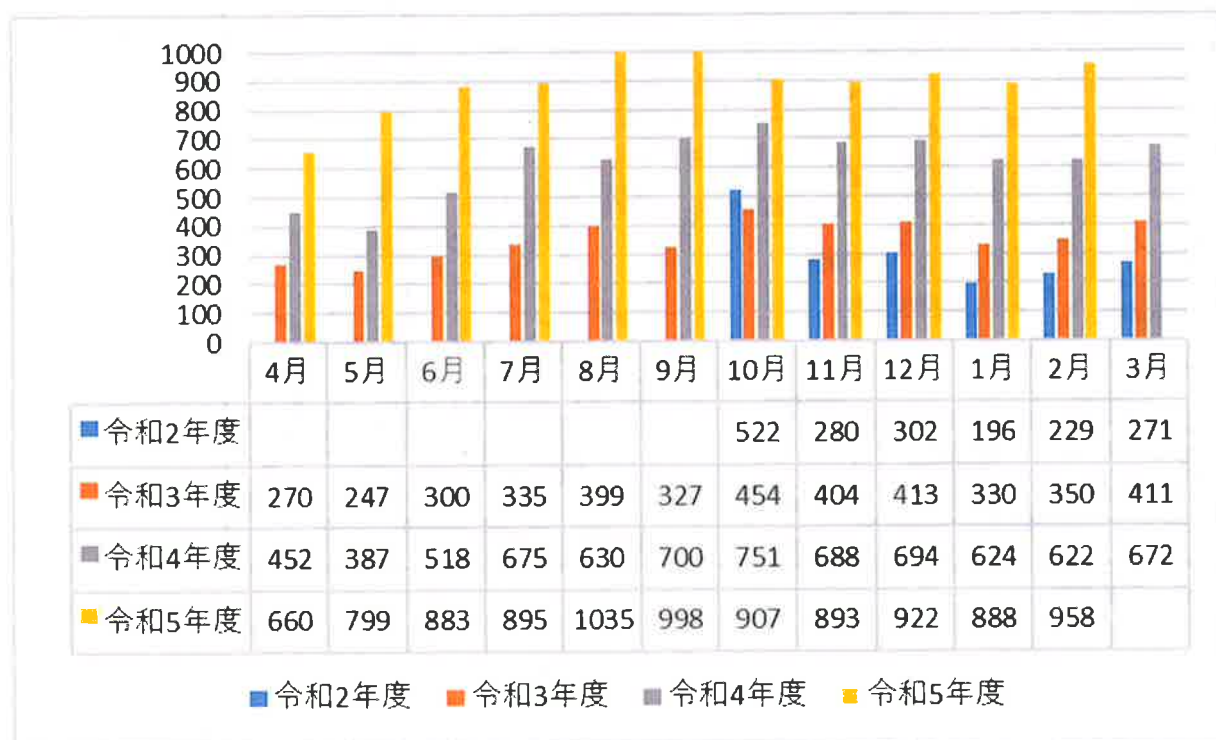
(d) 利用状況 (合計)

令和2年度は、10～3月までで、合計1,800人、月平均300人でした。

令和3年度は、年間合計4,240人、月平均353.3人でした。

令和4年度は、年間合計7,413人、月平均617.8人でした。

令和5年度は、4～2月までで、合計9,838人、月平均894.4人で、増加傾向となっています。



出典：宇多津町

(e) 系統別利用状況

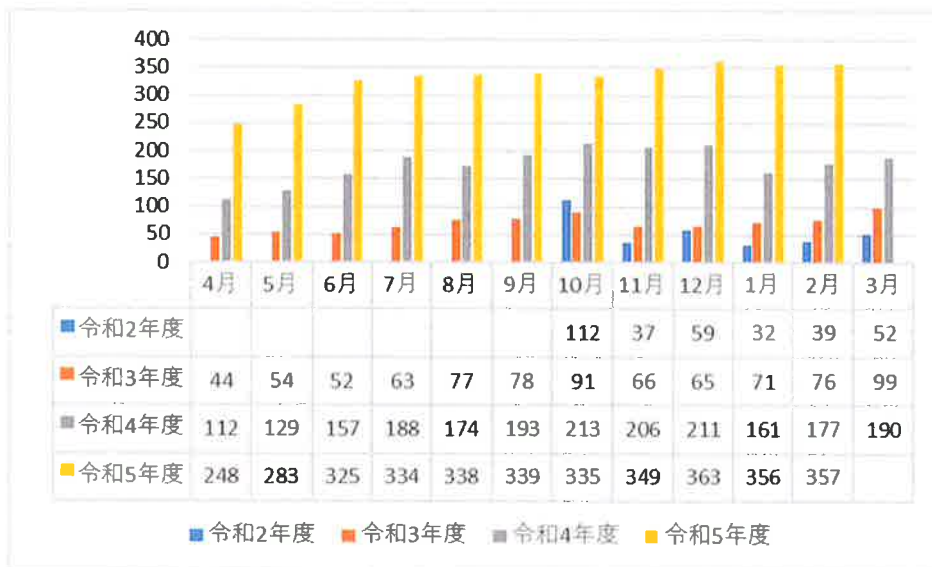
(南北線右回り)

令和2年度は、10～3月までで、合計331人、月平均55.2人でした。

令和3年度は、年間合計836人、月平均69.7人でした。

令和4年度は、年間合計2,111人、月平均175.9人でした。

令和5年度は、4～2月までで、合計3,627人、月平均329.7人となっています。



出典：宇多津町

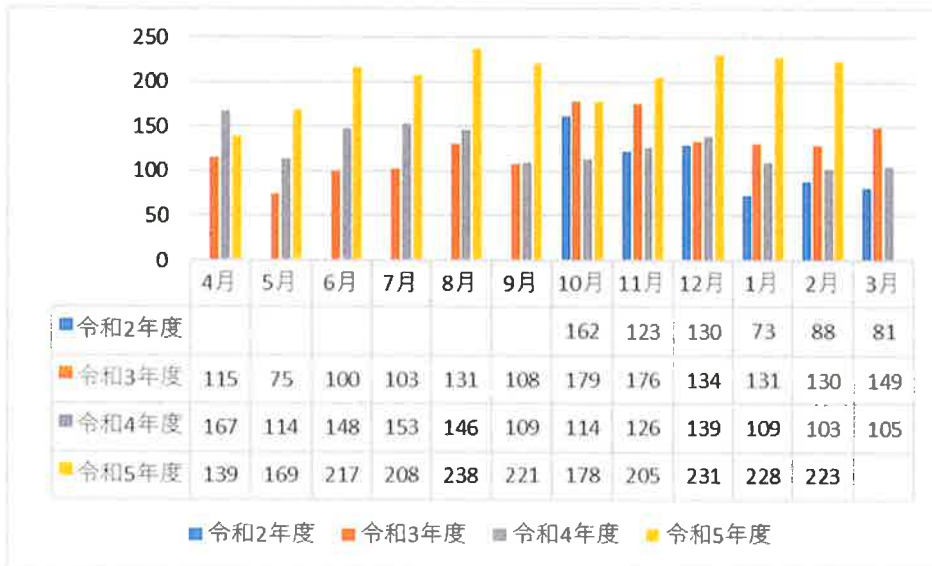
(南北線左回り)

令和2年度は、10～3月までで、合計657人、月平均109.5人でした。

令和3年度は、年間合計1,531人、月平均127.6人でした。

令和4年度は、年間合計1,533人、月平均127.8人でした。

令和5年度は、4～2月までで、合計2,257人、月平均205.2人となっています。



出典：宇多津町

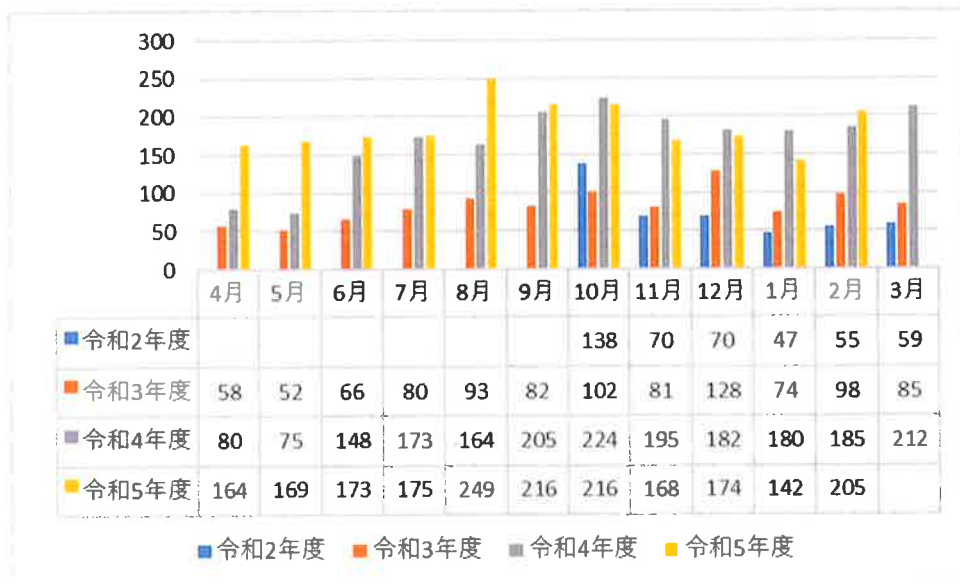
(東西線右回り)

令和2年度は、10～3月までで、合計439人、月平均73.2人でした。

令和3年度は、年間合計999人、月平均83.3人でした。

令和4年度は、年間合計2,023人、月平均168.6人でした。

令和5年度は、4～2月までで、合計2,051人、月平均186.5となっています。



出典：宇多津町

(東西線左回り)

令和2年度は、10～3月までで、合計373人、月平均62.2人でした。

令和3年度は、年間合計874人、月平均72.8人でした。

令和4年度は、年間合計1,746人、月平均145.5人でした。

令和5年度は、4～2月までで、合計1,903人、月平均173.0人となっています。



出典：宇多津町

(f) 停留所別乗車・降車状況

全ての期間において、商業施設（スーパーセンター）・駅（JR宇多津駅）・宇多津町役場（行政）への乗車・降車が多くなっています。

また、令和4年7月より、宇多津幼稚園への通園支援事業を実施しており、乗車・降車ともに大幅に増加しています。

乗車（上位 10 停留所のみ）

R2.10～R3.4

停留所名	月平均乗車数
マルナカスーパーセンター	84.3
宇多津駅南口	43.9
宇多津町役場	36.9
宇多津病院	11.1
宇多津調剤薬局	9.7
鍋谷コミュニティ分館	9.3
本村	9.3
四国水族館	9.1
十楽寺	8.9
新宇多津橋東詰	7.9

R3.5～R4.4

停留所名	月平均乗車数
マルナカスーパーセンター	89.4
宇多津駅南口	62.5
宇多津町役場	43.8
県営団地	25.8
宇多津病院	21.2
マルナカ宇多津店	16.6
十楽寺	11.3
宇多津浜二番丁	10.7
山下	9.6
京都東山前	9.0

R4.5～R5.3

停留所名	月平均乗車数
マルナカスーパーセンター	118.8
宇多津駅南口	100.8
宇多津幼稚園前	71.3
宇多津町役場	62.9
県営団地	37.6
京都東山前	35.7
四国水族館	27.4
宇多津病院	23.5
マルナカ宇多津店	21.1
宇多津浜二番丁	20.5

出典：宇多津町

降車（上位 10 停留所のみ）

R2.10～R3.4

停留所名	月平均降車数
マルナカスーパーセンター	74.3
宇多津駅南口	54.7
宇多津町役場	37.6
宇多津調剤薬局	16.0
宇多津病院	9.3
大橋南	7.7
マルナカ宇多津店	7.6
四国水族館	7.4
十楽寺	7.0
四国健康村	6.7

R3.5～R4.4

停留所名	月平均降車数
マルナカスーパーセンター	79.2
宇多津駅南口	67.1
宇多津町役場	56.2
宇多津浜二番丁	17.5
宇多津病院	15.8
県営団地	15.6
京都東山前	14.9
マルナカ宇多津店	14.8
ビジネスホテルうたづ	12.9
宇多津調剤薬局	8.3

R4.5～R5.3

停留所名	月平均降車数
宇多津駅南口	133.0
マルナカスーパーセンター	88.3
宇多津町役場	80.0
宇多津幼稚園前	57.8
宇多津浜二番丁	33.1
京都東山前	27.7
県営団地	26.4
マルナカ宇多津店	19.7
宇多津病院	19.1
産直市うたづ	18.1

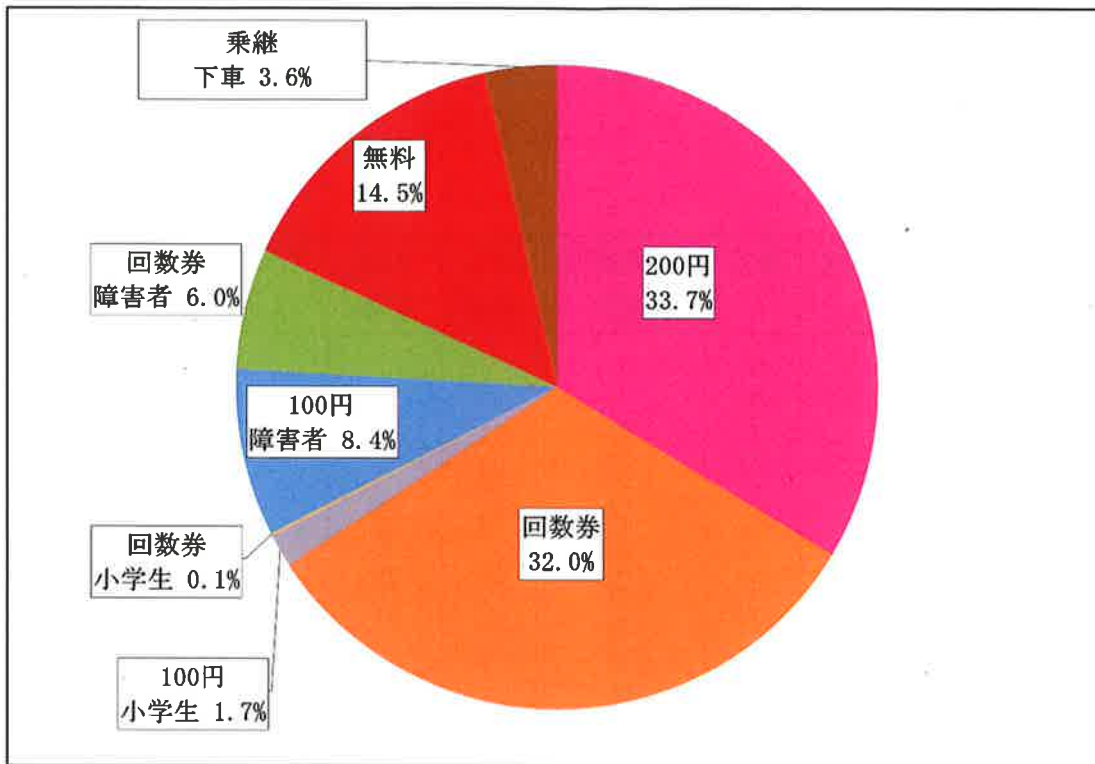
※R3.5、R4.5 に運行ルート・時刻表を一部変更しているため、上記の表示としています。

出典：宇多津町

（g）運賃別利用状況

運賃別の利用状況は、200 円（現金）での利用が 33.6%で最も多く、次いで 200 円（回数券）となっています。

小学生・障がい者・無料（未就学等）の合計（＝交通弱者とされる方）が、全体の約 30%を占めております。



出典：宇多津町

(h) 国庫補助の状況

宇多津町コミュニティバスは、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統として位置付けたうえで、以下の通り整理します。

<補助系統の位置付け・役割>

位置付け	路線	役割	確保・維持策
支線	<ul style="list-style-type: none"> ・南北線（右回り） ・南北線（左回り） ・東西線（右回り） ・東西線（左回り） 	主に日常生活圏内での移動を担う。	地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を目指す。

<地域公共交通確保維持事業により確保・維持を図る必要性>

本町の交通機関は、JR宇多津駅を中心とし、隣接している市のコミュニティバス、タクシーにより構成される公共交通機関網が広がっており、宇多津町コミュニティバスは、令和2年10月より試行運行中であり、主に車を運転できない高齢者等の多い南北線沿線の住民にとって、医療機関、駅周辺及び商業施設の多い北部（東西線沿線）までの移動手段として、また生活に必要な交通機能となっています。

今後、さらなる高齢化が進んでいく中において、交通弱者の公共施設及び病院、ス

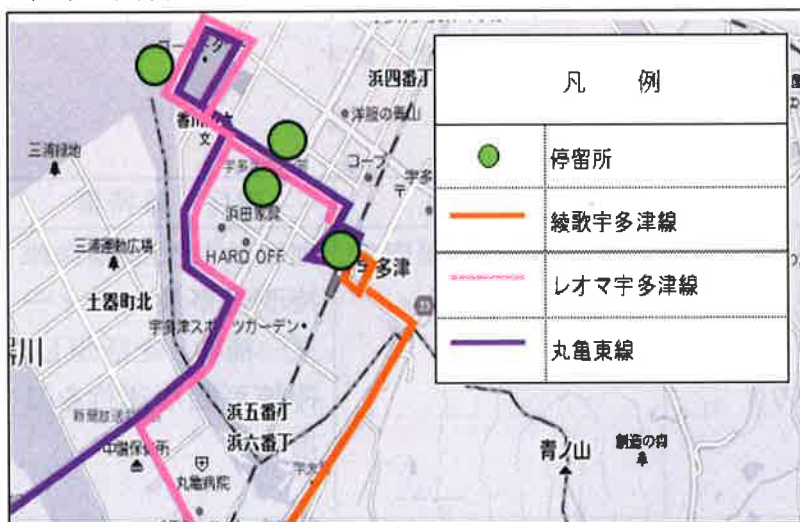
一パー等の商業施設への移動手段の確保が課題であり、これらの解決を目的として、地域公共交通確保維持事業により、効率的かつ効果的な公共交通ネットワークを確保・維持する必要があります。

<補助事業の概要>

路線名	起点	経由地	終点	事業許可区分	運行態様	実施主体	国庫補助事業の活用
南北線 (右回り)	マルナカスーパーセンター	宇多津町役場	マルナカスーパーセンター	自家用有償旅客運送	路線定期運行	宇多津町	フイーター補助
南北線 (左回り)							
東西線 (右回り)							
東西線 (左回り)							

(3) 丸亀コミュニティバス

(a) 路線図



出典：琴参バス株式会社

(b) 運行状況

丸亀コミュニティバスは、丸亀東線とレオマ宇多津線がJR宇多津駅北口まで、綾歌宇多津線がJR宇多津駅南口まで乗り入れしています。

丸亀東線は、三谷団地前行きが、1日7便（日祝及び12/31～1/3は、6便）、宇多津駅北口行きが、1日6便（日祝及び12/31～1/3は、5便）運行しています。

レオマ宇多津線は、NEWレオマワールド行きが、1日6便（日祝及び12/31～1

/3は、5便)、宇多津駅北口行きが、1日6便(日祝及び12/31~1/3は、5便)運行しています。令和4年10月より、一部ルートを変更し、四国水族館に乗り入れをしています。

綾歌宇多津線は、綾歌市民総合センター・湯舟道行きが、1日7便(日祝及び12/31~1/3は、6便)、宇多津駅南口行きが、1日6便(日祝及び12/31~1/3は、5便)運行しています。

(c) 運賃

分類	普通券	一日券	回数券 (11回分)
大人	200円	500円	2,000円
子ども(0歳~小学生)	100円	200円	1,000円

※障がい者等及び運転免許返納者は、上記金額の半額(10円未満四捨五入)。

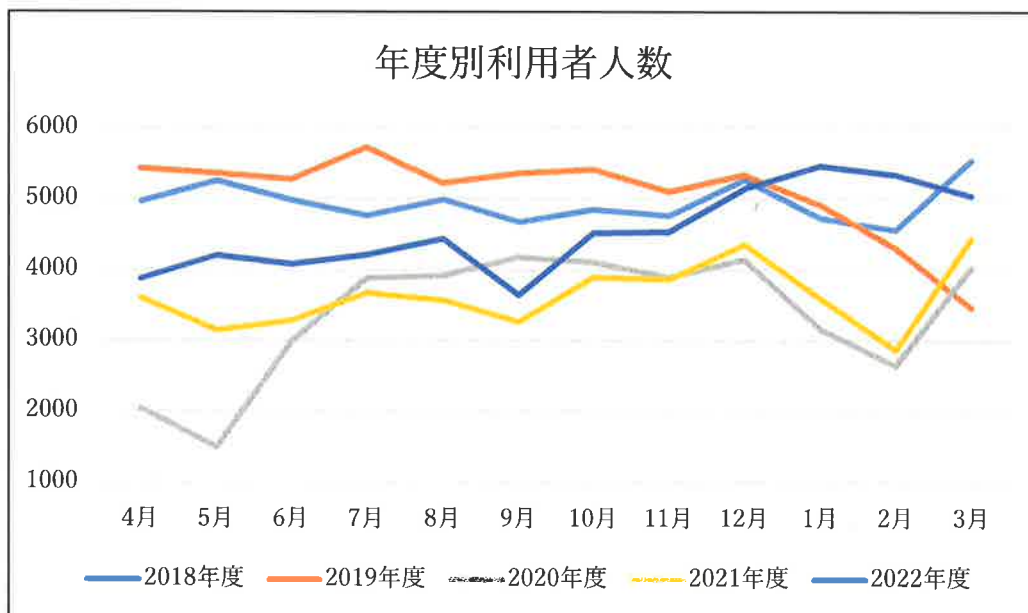
※お客様(6歳未満の人を除く)の同伴する1歳以上6歳未満の人(1人に限る)と1歳未満の人は、運賃無料。

出典：丸亀コミュニティバス路線図&時刻表(令和4年10月1日改正)より作成

(d) 利用状況

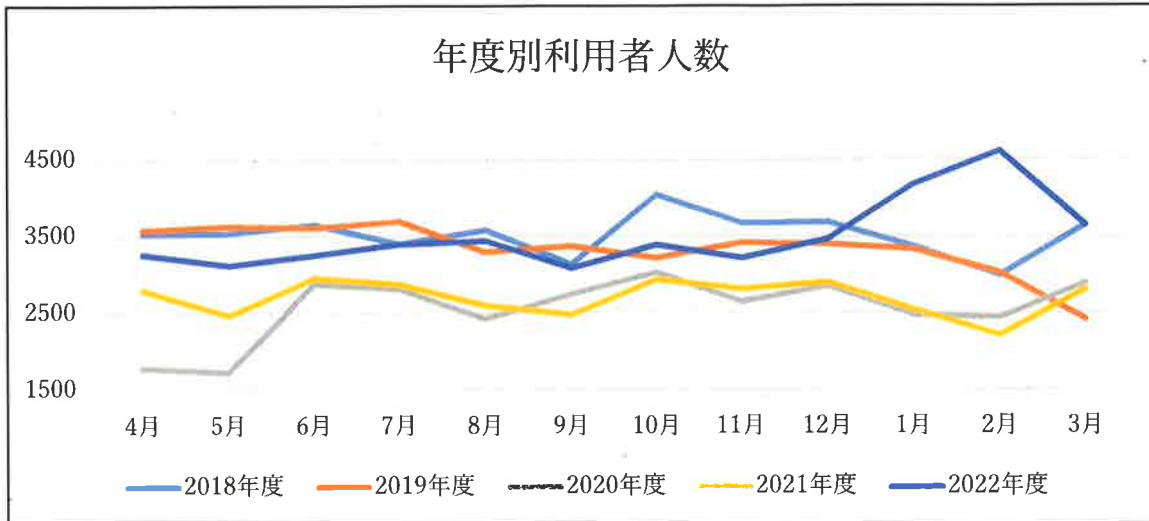
新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020、2021年と大幅な減少となりましたが、令和4年は、回復基調となっています。

(レオマ宇多津線)



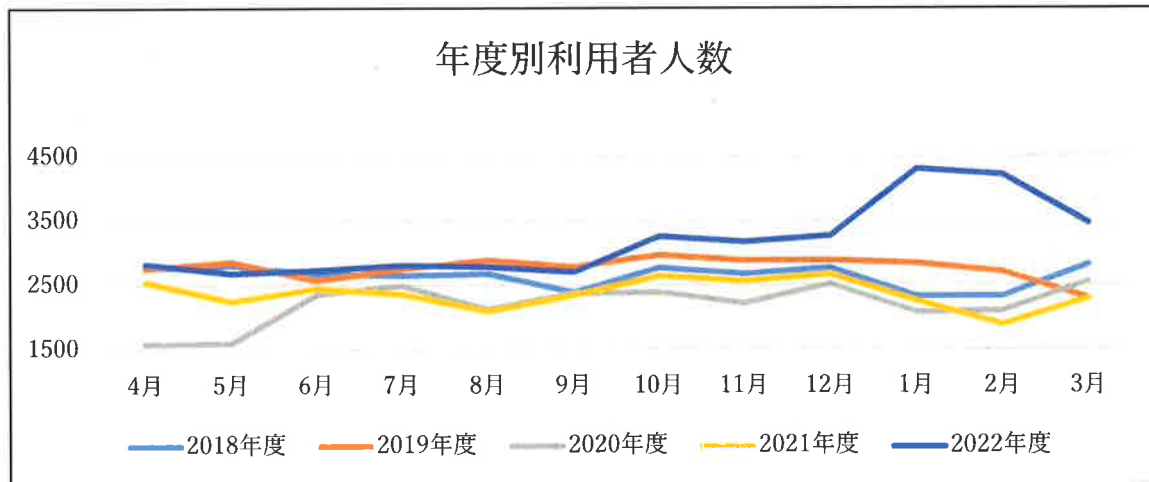
出典：琴参バス株式会社提供データより作成

(綾歌宇多津線)



出典：琴参バス株式会社提供データより作成

(丸亀東線)



出典：琴参バス株式会社提供データより作成

(4) うたまちシャトル

うたまちシャトルは、JR宇多津駅北口から四国水族館まで1日12便、四国水族館からJR宇多津駅北口まで1日11便運行しています(季節によって変動することがあります)。

運賃は、1乗車あたり300円となっています。

(5) 空港リムジンバス

(a) 路線図



出典：琴参バス株式会社ホームページ

(b) 運行状況

空港リムジンバスは、JR丸亀駅を起点とし、JR宇多津駅南口を経由して、高松空港までを結ぶ路線です（オークラホテル丸亀～JR宇多津駅南口～JR坂出駅間の利用は不可）。

高松空港行きは1日8本、高松空港発は1日10本運行されています。

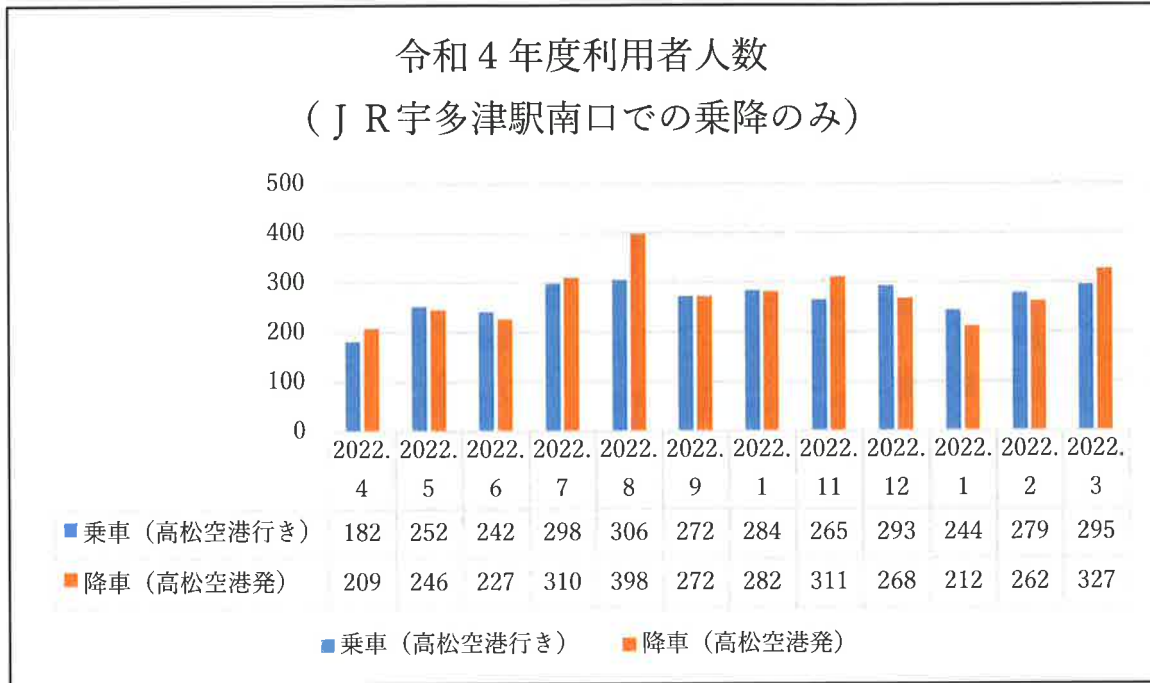
(c) 運賃

		高松空港
停留所	綾川駅	600円
坂出駅	800円	1,200円
宇多津駅南口	900円	1,300円
丸亀駅	1,000円	1,400円
南条町	1,000円	1,400円
オークラホテル丸亀	1,200円	1,500円

※小人（小学生）・障がい者等及び運転免許返納者は、上記金額の半額（10円未満四捨五入）。

出典：琴参バス株式会社ホームページより作成

(d) 利用状況



出典：琴参バス株式会社提供データより作成

(6) 高速バス

JR宇多津駅前から、東京行き、名古屋行き、福岡行きの3路線が発着しており、夜行バスで1日1往復のみとなっています。

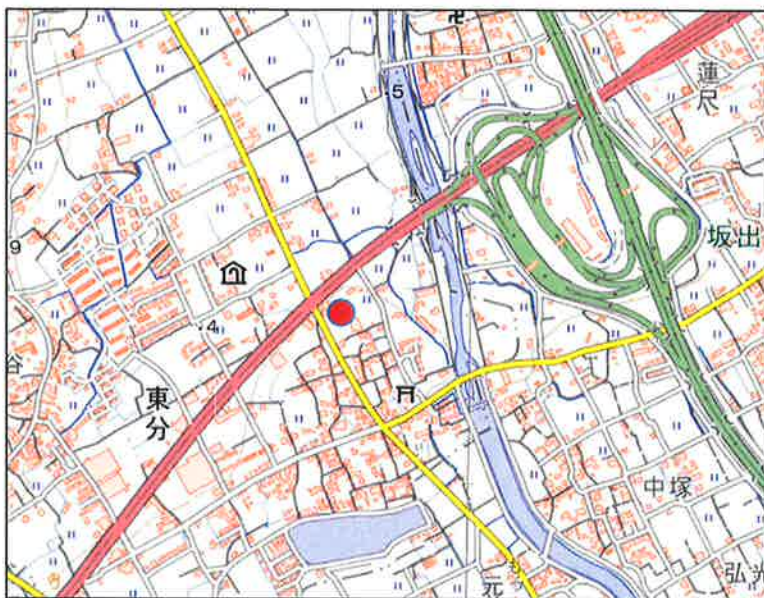
坂出インターバスターミナルから、名古屋行き、大阪行き、広島行きの3路線が発着しており、平日1日5～6往復運行されています。

(JR宇多津駅前 (東京行き、名古屋行き、福岡行き))



出典：地理院地図

(坂出インターバスターミナル (名古屋行き、大阪行き、広島行き))



出典：地理院地図

(7) タクシー

町内に営業所はありませんが、JR宇多津駅を中心に、5社が運行しています。

地域公共交通に係るニーズの把握

1 住民アンケート調査

1-1 概要

調査対象者	15歳以上の男女1,000人を無作為抽出
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・属性等・外出の頻度・通勤・通学での移動実態・買い物（食料品）での移動実態・通院での移動実態・通勤・通学、買い物（食料品）、通院以外の移動実態・公共交通の利用実態等・自由意見
調査方法	郵送による配布・回収、窓口での回収及びGoogleフォームでのオンライン回答
調査実施時期	令和5年9月20日（水）発送 10月10日（火）締切

1-2 アンケート調査結果のとりまとめ

郵送による配布・回収、窓口での回収及びGoogleフォームでのオンライン回答状況

回収数は、400人で回収率は40.0%でした。

回収数のうち、郵送236人（59.0%）、窓口92人（23.0%）、オンライン72人（18.0%）でした。

項目	数値
配布数	1,000人
回収数（郵送）	236人
回収数（窓口）	92人
回収数（オンライン）	72人
回収数（合計）	400人
回収率	40.0%

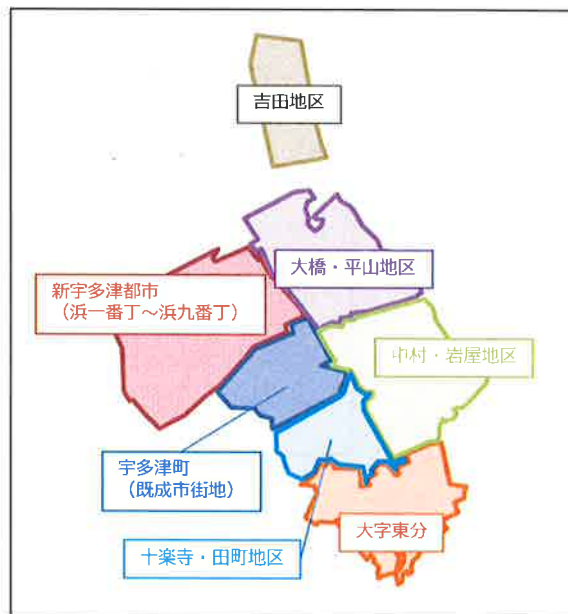
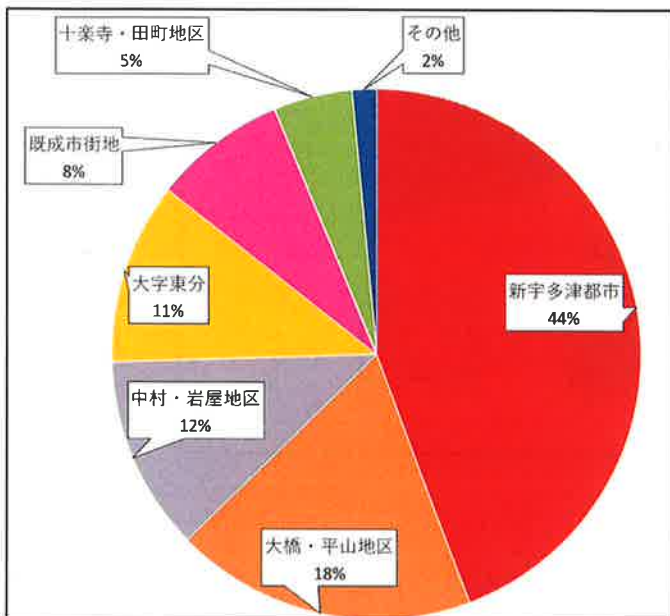
1-3 調査結果

(1) 個人属性

1) 居住地 (n=396)

今回のアンケート回答については、全体の44%が新宇多津都市に居住されています。

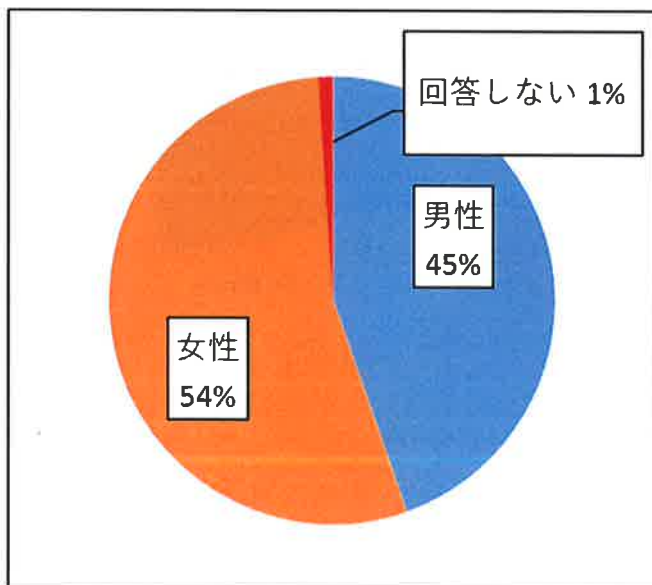
次いで、大橋・平山地区18%、中村・岩屋地区12%となっています。



宇多津町地区分類

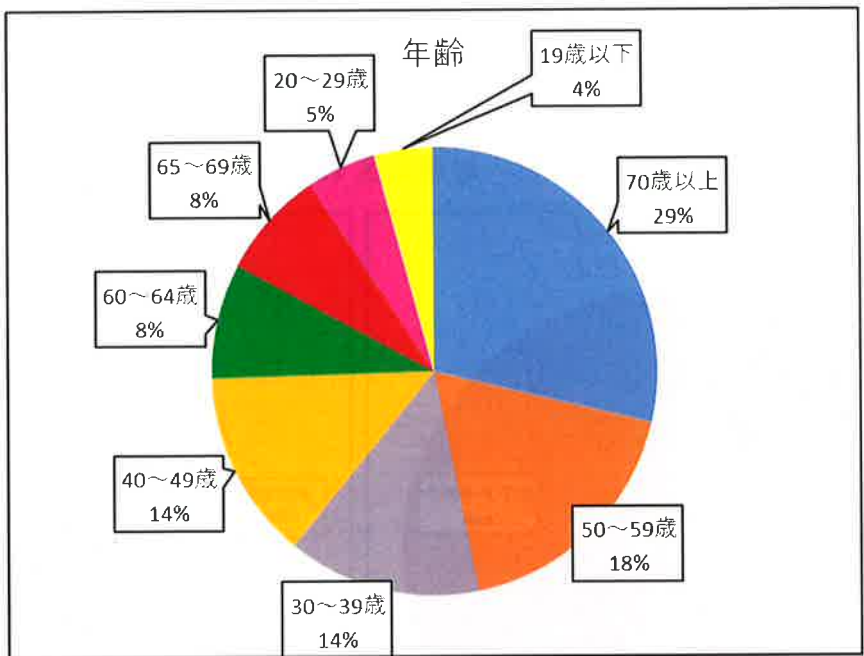
2) 性別 (n=397)

男性45%、女性54%となっています。



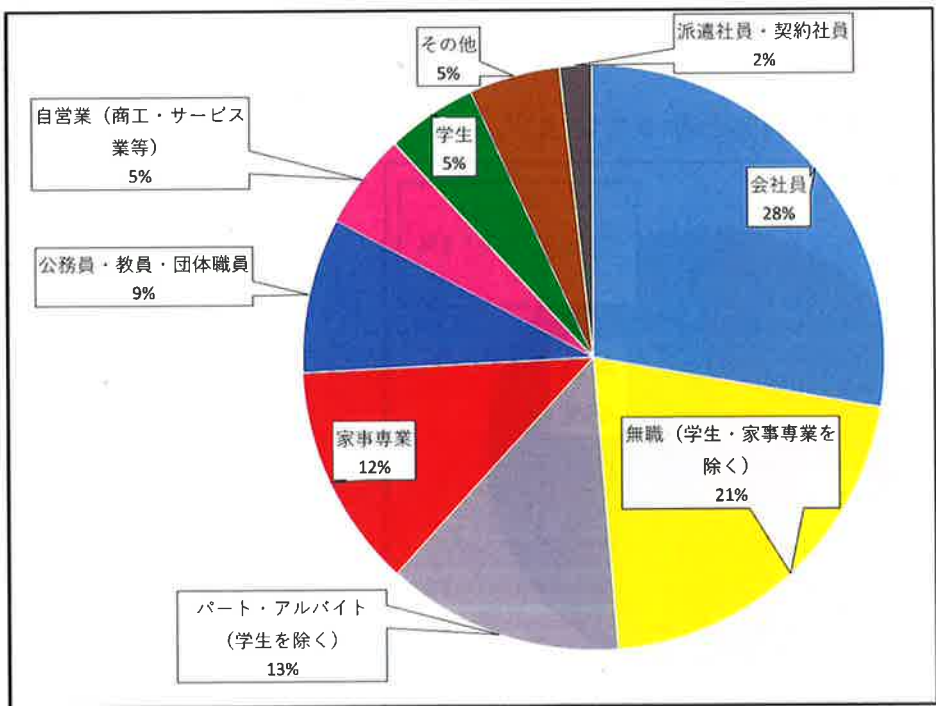
3) 年齢 (n=397)

70歳以上が29%、次いで50~59歳が18%となっています。



4) 職業 (n=396)

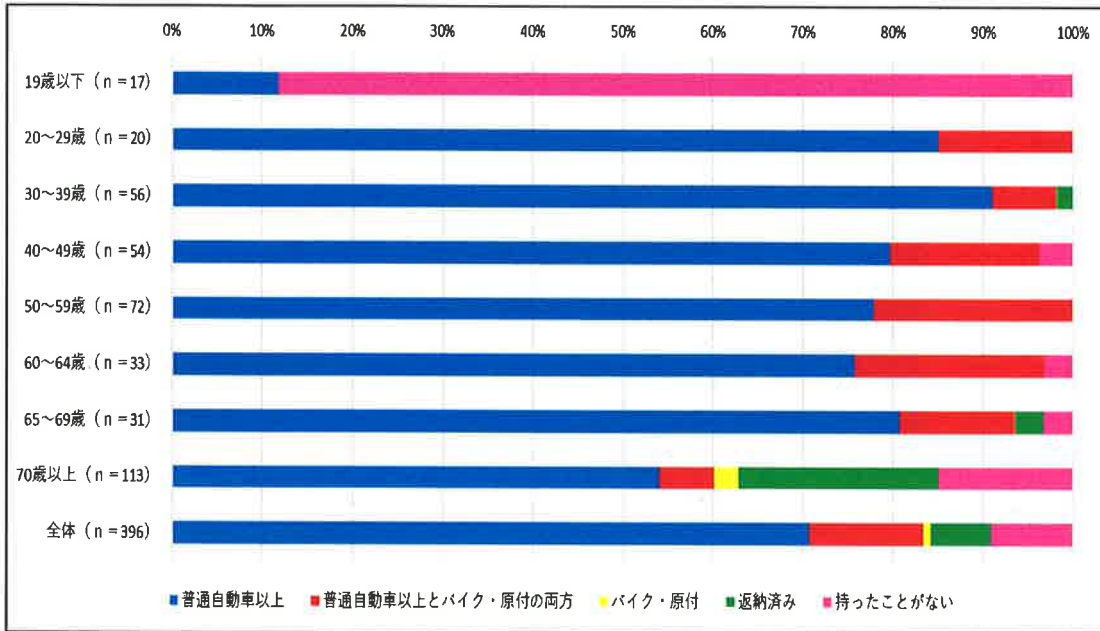
会社員28%、無職（学生・家事専業を除く）21%で、約半数を占めています。その他5%は、シルバー人材センター勤務、会社役員等となっています。



5) 運転免許の有無

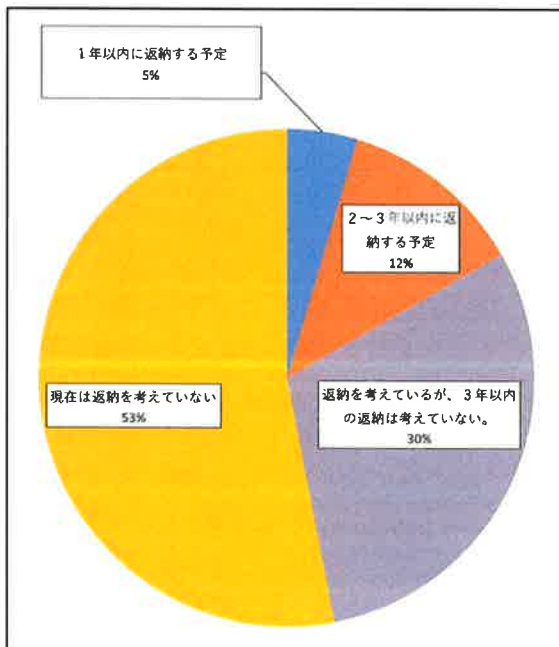
普通自動車以上の運転免許を持っている方は全体の71%、70歳以上では、113人中61人と、半数以上となっています。

運転免許返納済みは全体の7%、運転免許返納済み及び持ったことがない人は、70歳以上で113人中42人であり、そのため、徒歩以外の移動手段が必要とされているのではないのでしょうか。

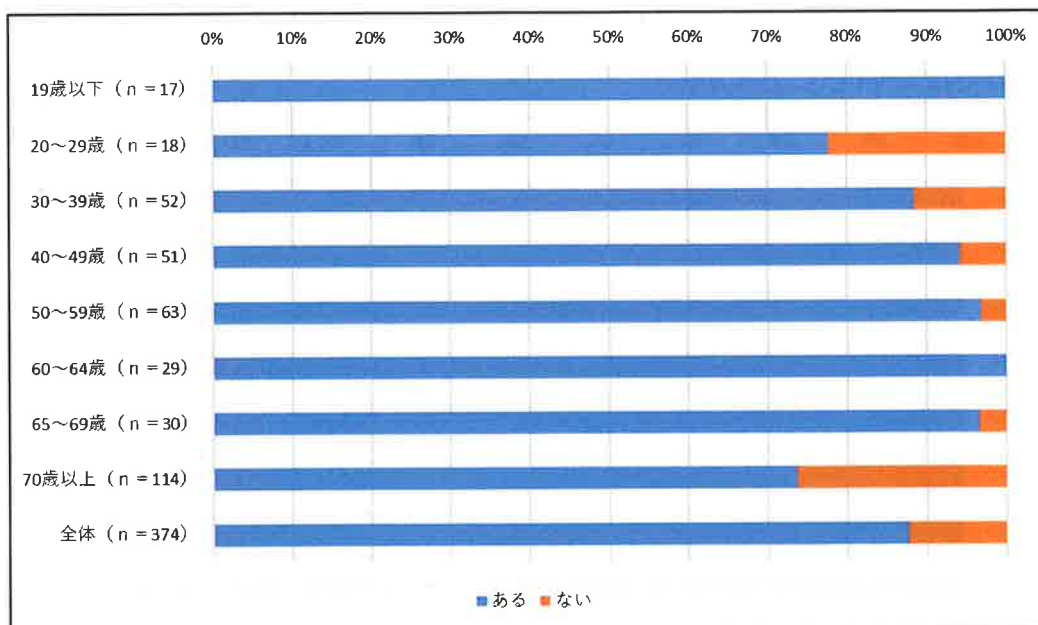


6) 70歳以上で運転免許をお持ちの方の返納についての意向 (n=72)

「現在は返納を考えていない」という方が53%と過半数を占めており、また3年以内の返納は考えていない方を含めると83%となり、車への依存度が高いことが分かります。



7) 徒歩以外の自力で移動する手段（例：自家用車、バイク、自転車など）の有無
 徒歩以外の自力で移動する手段のある方は、全体で88%となっています。
 徒歩以外の自力で移動する手段のない方は、20～29歳で22%、70歳以上で26%。
 高齢者だけでなく、20～49歳の方も見られます。

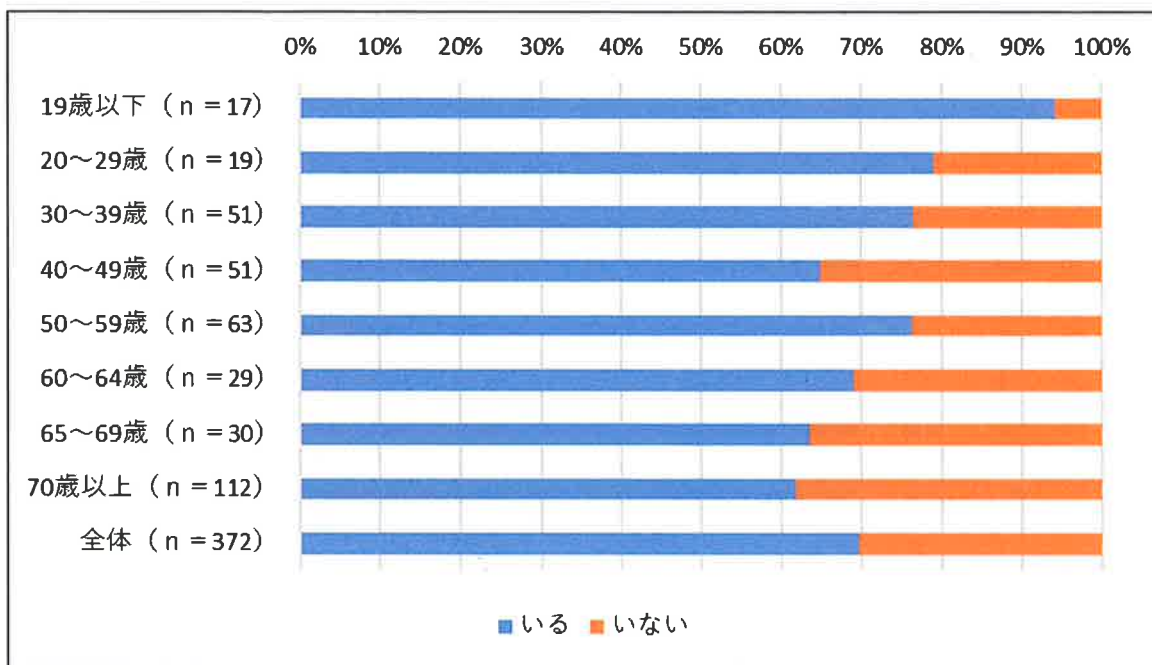


自力で移動する手段のある方のうち、自家用車が全体の55%と過半数を占めており、自転車（その他の電動自転車を含む）36%となっています。

※複数回答を含みます。

あるの手段	合計	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
電車	5	1	1	1				1	1
バイク	17				4	3	1	2	7
バス	2					1		1	
自家用車	220	1	11	33	32	45	25	24	49
自転車	144	15	4	20	25	26	7	9	38
その他	6				1	1		1	3
無回答	5			1	1	1	1		1
合計	399	17	16	55	63	77	34	38	99
回答者数	328	17	14	46	48	61	29	29	84

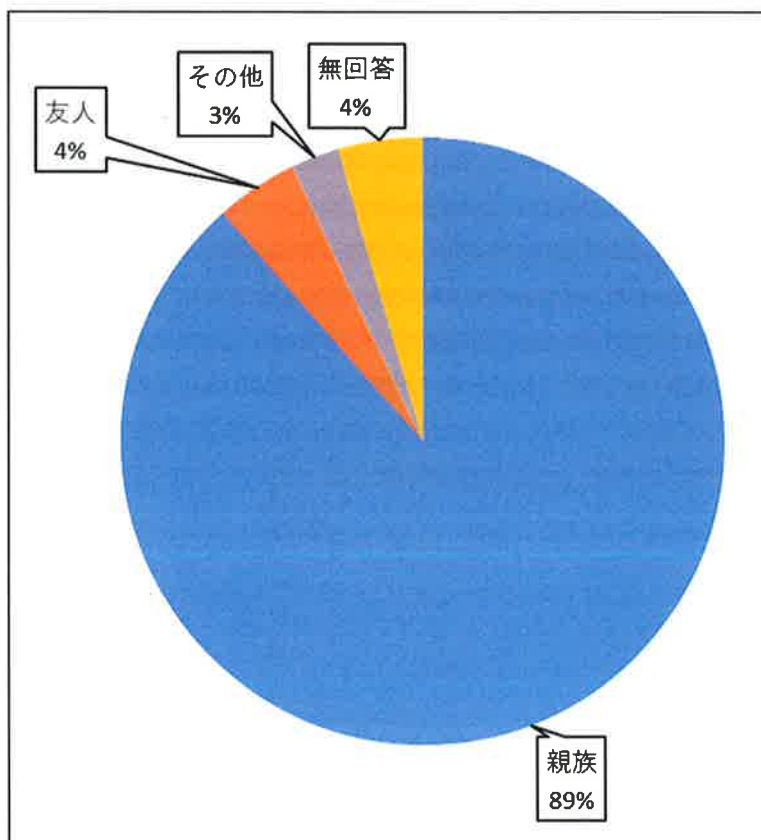
8) 家族やお知り合いの方で、気兼ねなく送迎を頼める方の有無
 「いる」約70%、「いない」約30%となっています。



「いる」のうち、89%が親族となっています (n=269)。

その他は、会社の同僚などとなっています。

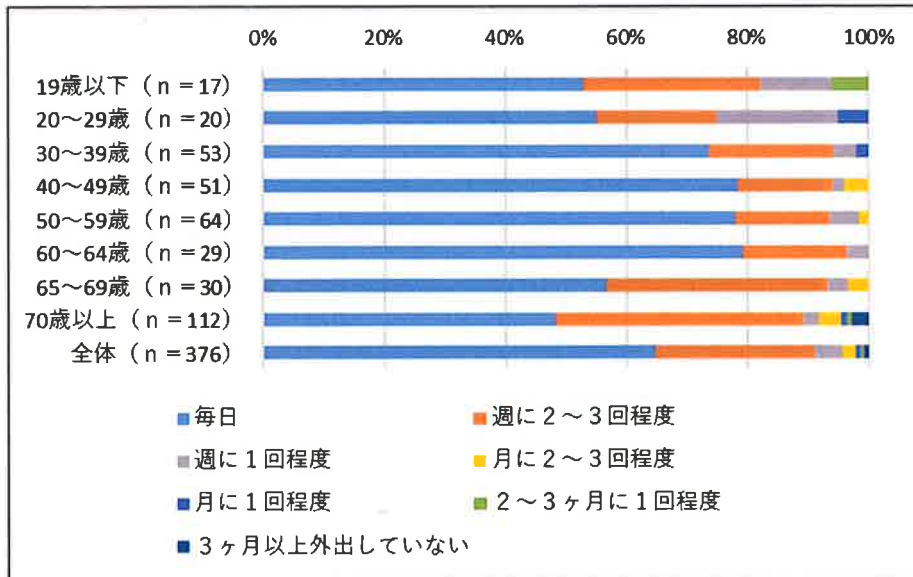
※複数回答を含みます。



9) 外出回数

「毎日」外出しているのは、全体で約 65%、そのうち、30～64 歳で 70%以上を占めます。しかし、全体の 98%は月に 2～3 回以上は外出できています。

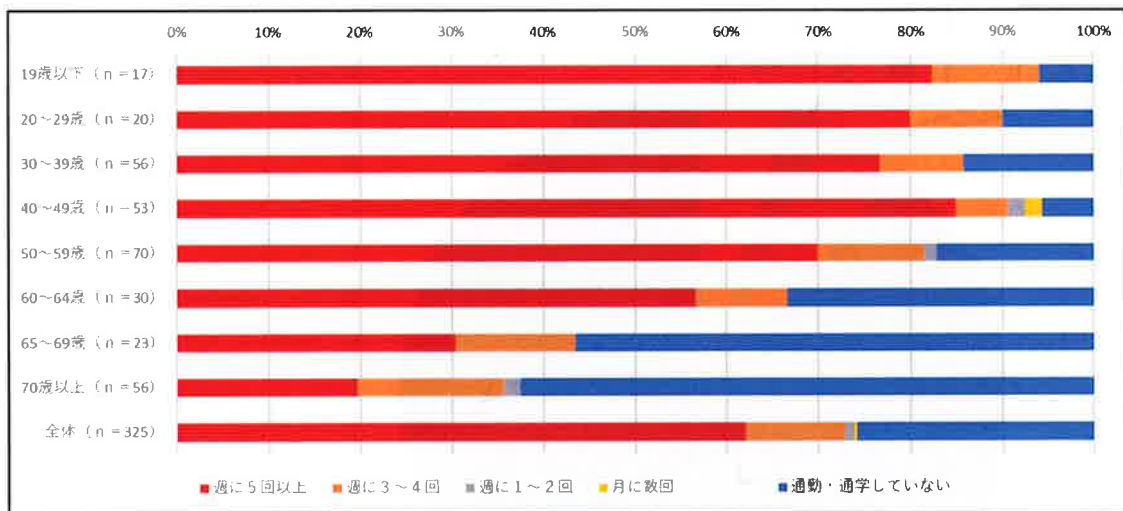
3 ヶ月以上外出していない方の理由は、「施設への入所」「入院中」などとなっています。



(2) 通勤・通学

1) 通勤・通学の回数

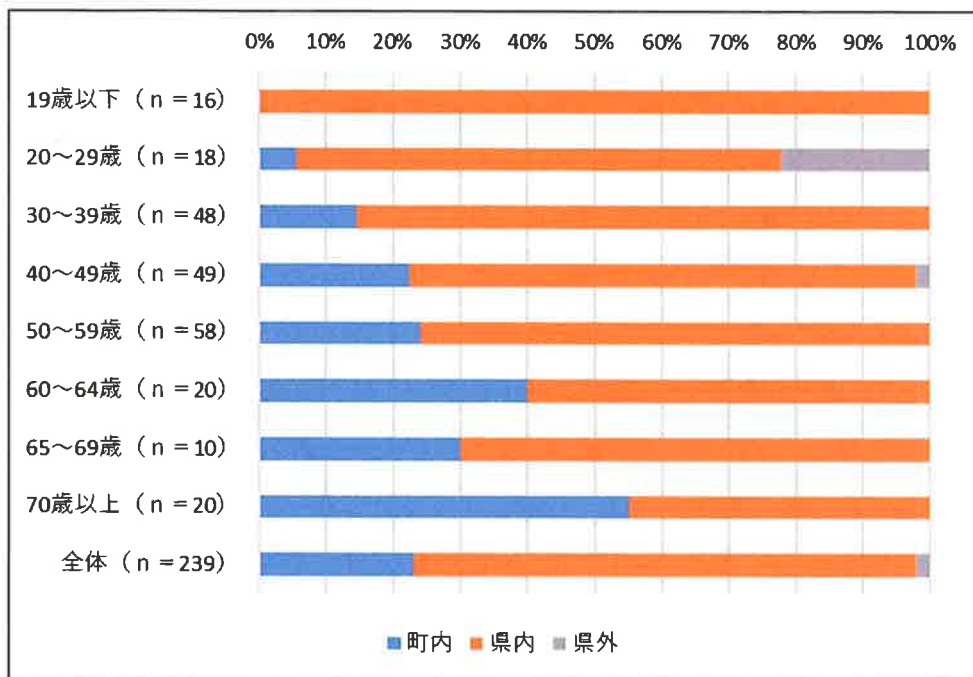
「週に 5 回以上」通勤・通学しているのは、全体で 62%、50 歳代以下で 70%以上となっています。65～69 歳では 30%と、過半数を切っています。



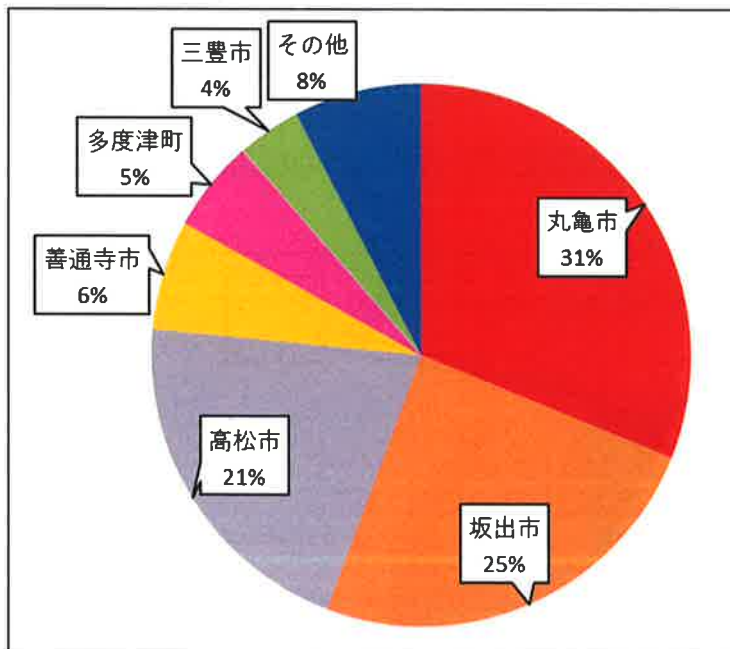
2) 通勤・通学先

「県内（町外）」に通勤・通学しているのは、全体の75%となっています。

「県外」への通勤・通学は、岡山県・兵庫県などとなっています。



「県内（町外）」への通勤・通学は、隣接している丸亀市、坂出市が多く、次いで高松市となっています（n = 183）。高松市へは、ほぼ通勤されている方で占め、学生は3名です。

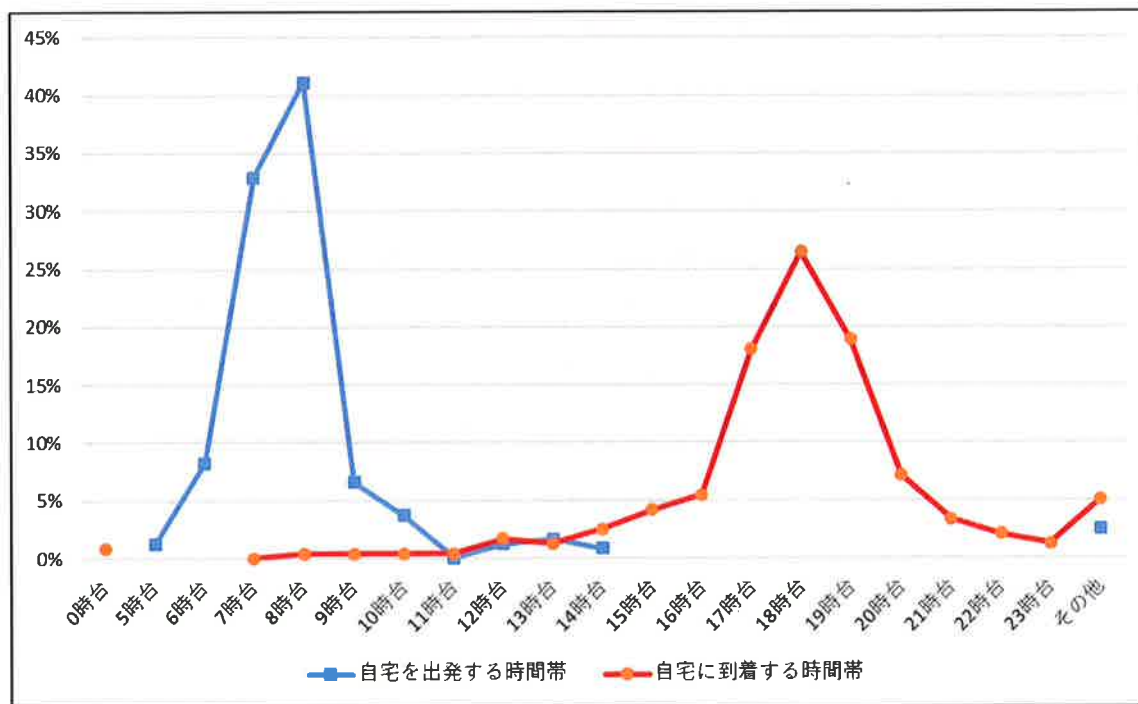


3) 通勤・通学の時間帯・交通手段

自宅を出発する時間帯は、8時台が最も多く41%、次いで7時台の33%となっています。

自宅に到着する時間帯は、18時台が最も多く26%、次いで19時台の19%となっています。

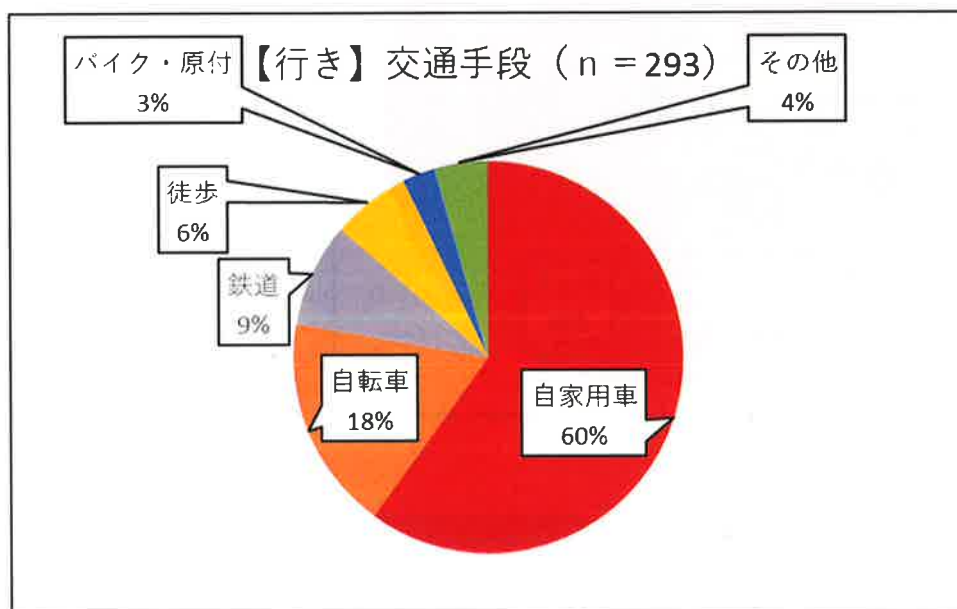
両方共に、公共交通機関を含め、交通状態が混雑した時間といえます。



行きの交通手段は、自家用車が最も多く60%、次いで自転車18%となっています。

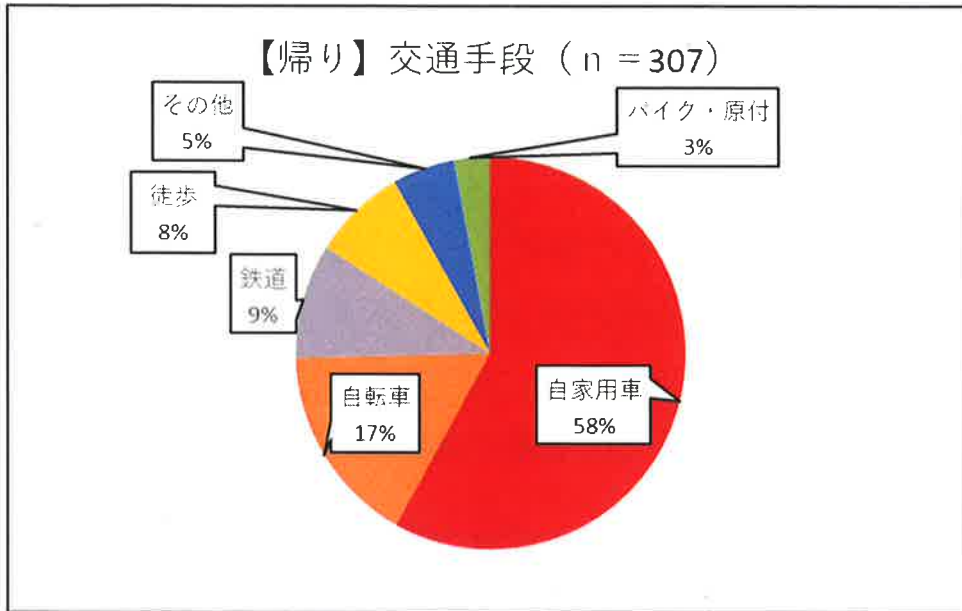
(※複数回答を含みます。)

宇多津町コミュニティバス(みんなのおでかけバス)の利用は、10代2名、40代2名の計4名となっています。



帰りの交通手段は、自家用車が最も多く 58%、次いで自転車 17%となっています
 (※複数回答を含みます。)

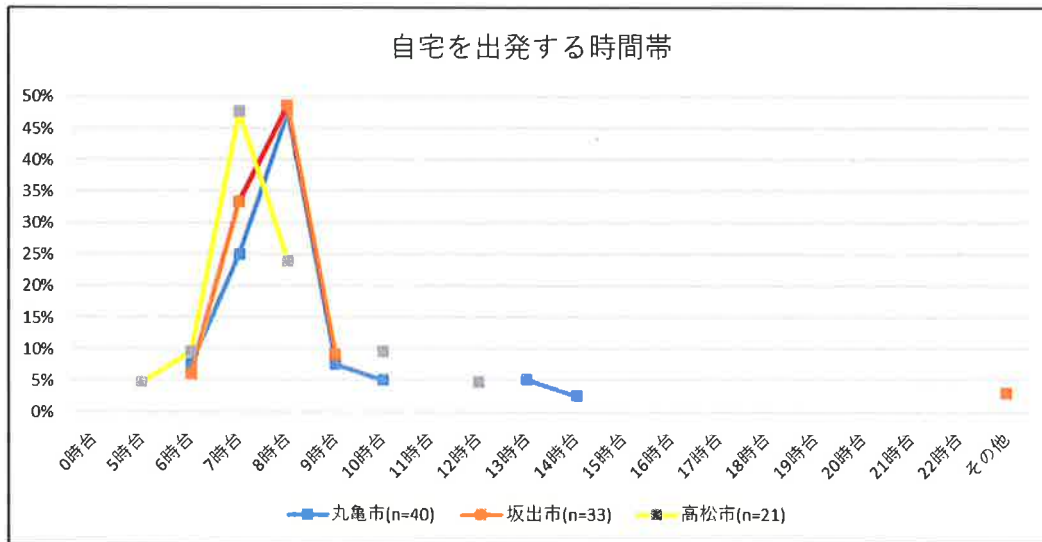
宇多津町コミュニティバス(みんなのおでかけバス)の利用は、10代2名、40代3名の計5名となっています。



<回答数の多かった、自家用車での丸亀市・坂出市・高松市への通勤・通学>
 ※複数回答を含みます。

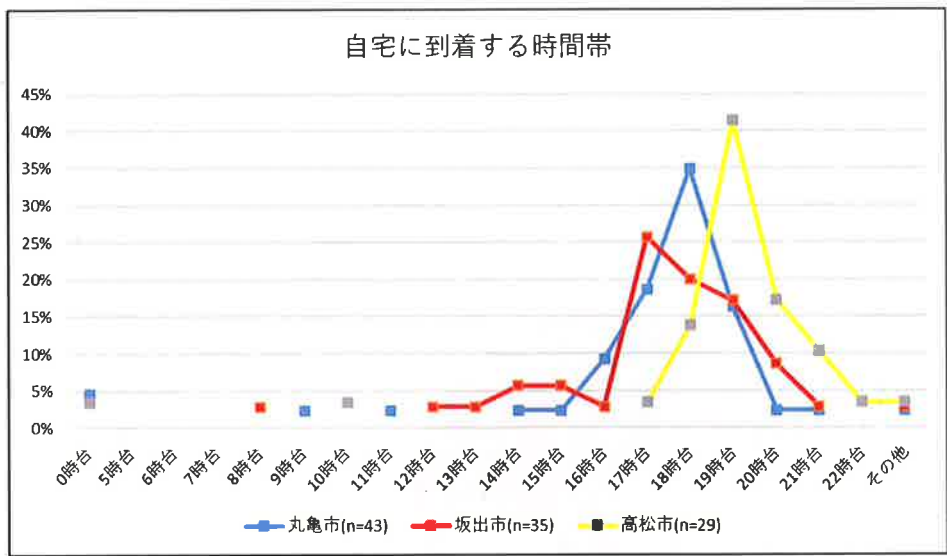
丸亀市及び坂出市へは、自家用車で8時台に自宅を出発される方が、それぞれ48%と最も多くなっています。

高松市へは、自家用車で7時台に出発する方が48%と最も多くなっています。



丸亀市からは、自家用車で18時台に到着される方が35%と最も多くなっています。
 坂出市からは、自家用車で17時台・18時台に到着される方がそれぞれ26%、20%と最も多くなっています。

高松市からは、自家用車で19時台に到着される方が41%と最も多くなっています。



自宅を出発する時間帯は、高松へは、距離や交通渋滞等により、丸亀市、坂出市に比べて1時間早くなっています。

自宅に到着する時間帯は、高松市については、同様の理由により、1時間程度遅くなっています。ただ、丸亀市、坂出市を比較すると、自宅を出発するのは、同時時間帯であるが、自宅に到着するのは、1時間程度坂出市の方が早くなっています。

(3) 買い物（食料品）

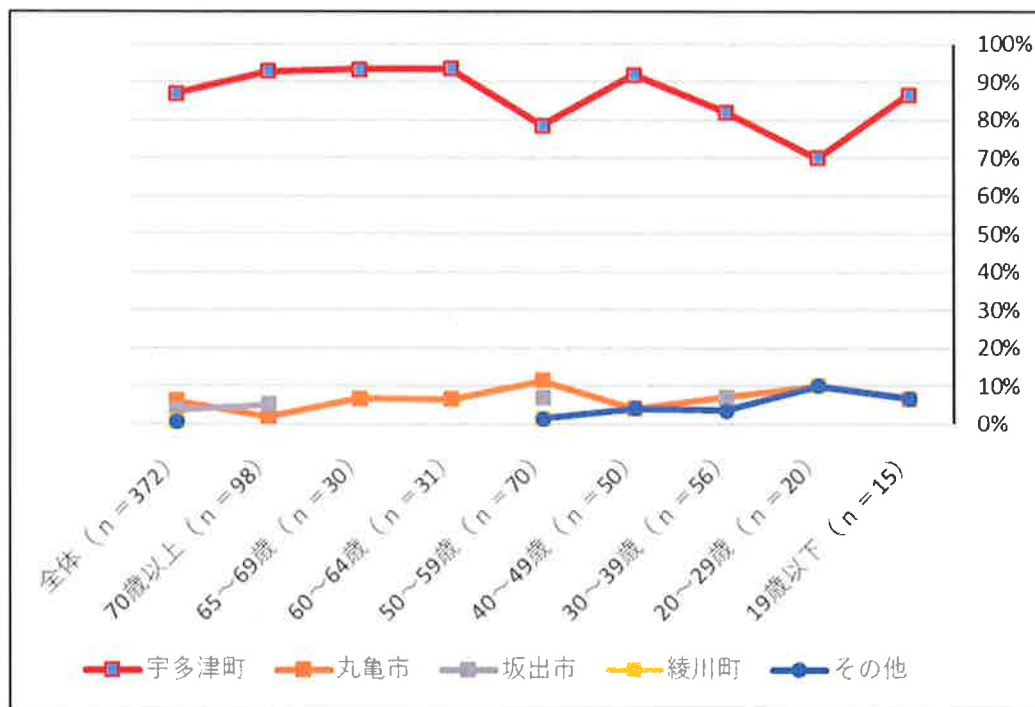
1) よく行く買物先（上位5位）

※複数回答を含みます。

順位	施設名	回答数
1	マルナカスーパーセンター宇多津店	114
2	マルナカ宇多津店	64
3	エブリイ宇多津店	59
4	イオンタウン宇多津	49
	ドラッグストアコスモス宇多津店	

市町別の買い物（食料品）先は、宇多津町内が最も多く、87%となっています。

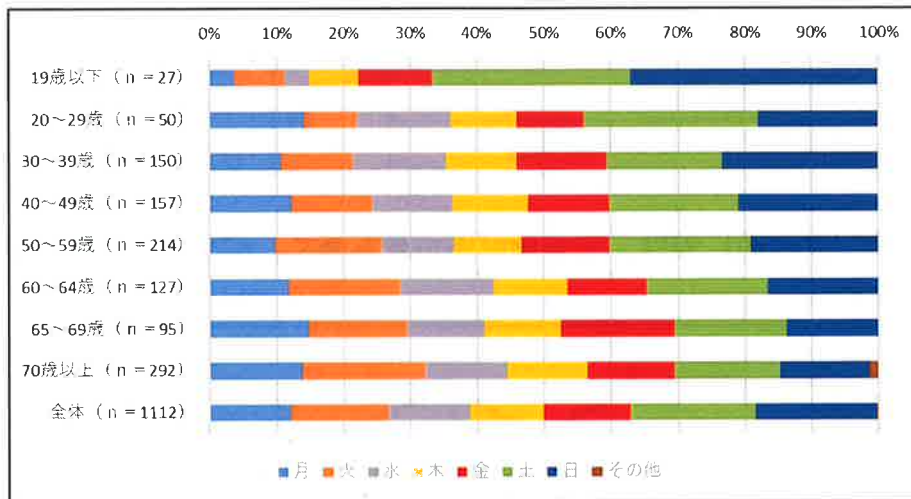
※複数回答を含む。



2) 買い物（食料品）に出かけることの多い曜日 ※複数回答を含みます。

全体的に、土日に買い物（食料品）に出かける方が多くなっています。土曜日、日曜日がほぼ同じ比率で、それぞれ19%、18%となっています。

年代別では、19歳以下、30～39歳、40～49歳は、日曜日が最も多く37%、23%、21%となっています。65～69歳は、金曜日と土曜日が最も多く、それぞれ17%となっています。

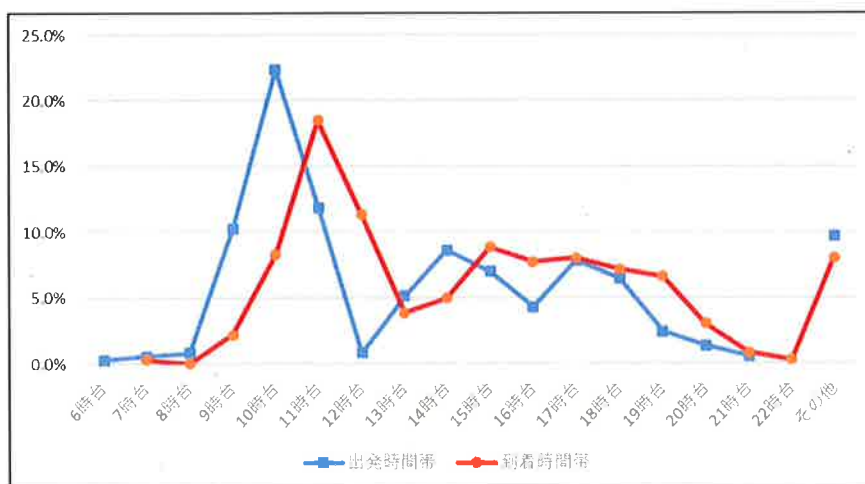


3) 買い物（食料品）に出かける時間帯・交通手段

自宅を出発する時間帯は、10時台が最も多く22%、次いで11時台の12%となっています。

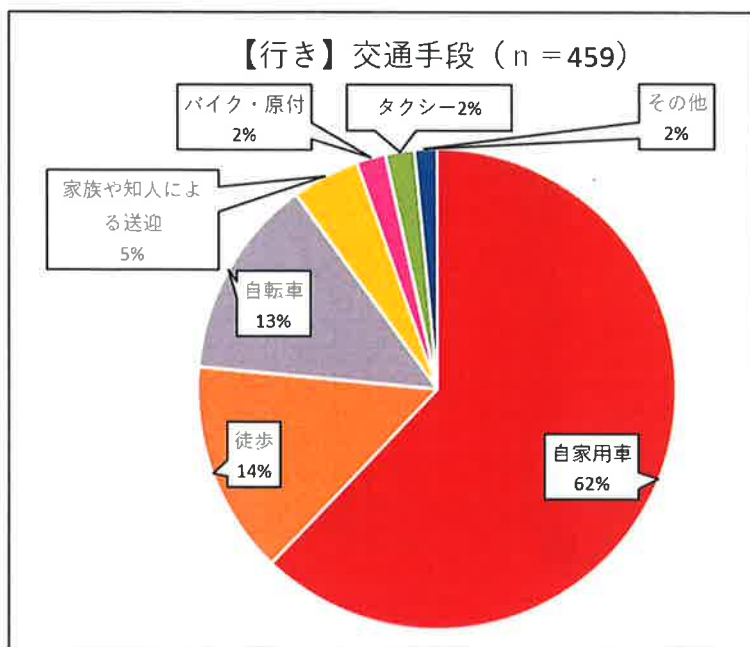
自宅に到着する時間帯は、11時台が最も多く19%、次いで12時台の11%となっています。

自宅を出発する時間帯と自宅に到着する時間帯は、同様の線を描いており、店での滞在時間は短いのではないかと推測できます。今回のアンケートでは、高齢者が多いことも関係していると思われます。仮に、マルナカスーパーセンター宇多津店へのバス利用を考えたとき、行き帰りの時間が短い方がよいのでしょうか。



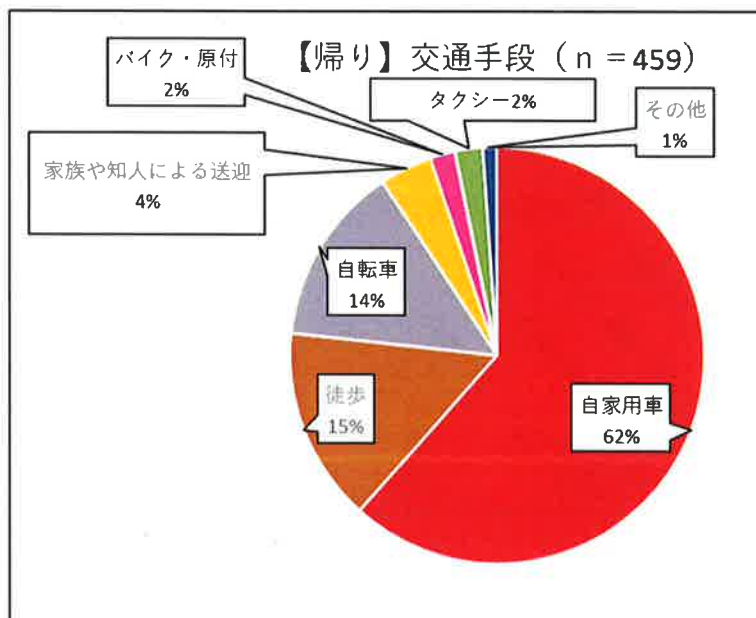
行きの交通手段は、自家用車が最も多く62%、次いで徒歩・自転車それぞれ14%、13%となっています（※複数回答を含みます）。

宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）の利用は、40代2名、70代以上1名の計3名となっています。



帰りの交通手段は、自家用車が最も多く62%、次いで徒歩15%となっています（※複数回答を含みます）。

宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）の利用は、40代2名、70代以上1名の計3名となっています。



＜回答数の多かった、自家用車で宇多津町内での買い物（食料品）＞

※複数回答を含みます。

自家用車で土曜日の10時台に自宅を出発される方が、26件と最も多くなっています。

自家用車で土曜日の11時台に自宅に到着される方が19件と最も多くなっています。

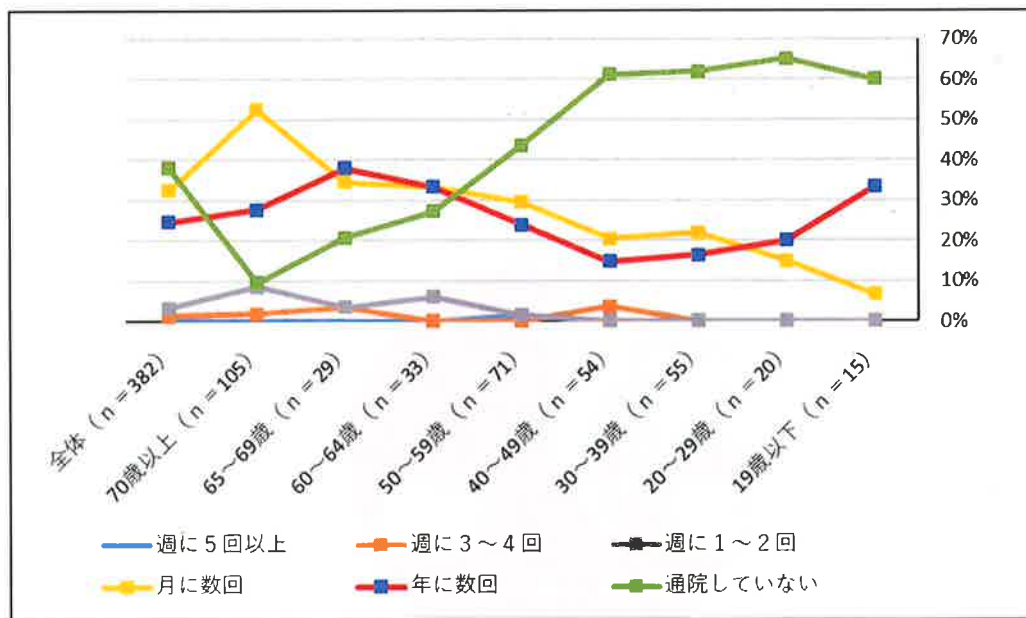
(行き) 出発時間帯	日	月	火	水	木	金	土	その他	合計
7時台	1	1	1	1	1	1	1		7
8時台	1	1	1	1	1	1	1		7
9時台	8	4	8	5	5	5	13		48
10時台	21	13	17	12	10	9	26	1	109
11時台	11	8	12	6	7	8	9		61
12時台	1	1			1	1			4
13時台	8	4	5	2	3	4	5	1	32
14時台	12	7	9	9	6	9	14		66
15時台	11	4	5	9	4	4	7		44
16時台	5	3	4	4	3	3	4		26
17時台	9	8	9	9	6	10	12		63
18時台	6	9	8	5	8	8	5		49
19時台	3	1	4	3	4	1	3		19
20時台	2			1			2		5
21時台			1		1				2
その他	9	6	8	6	5	7	8	1	50
総計	108	69	93	73	64	71	111	3	592

(帰り) 到着時間帯	日	月	火	水	木	金	土	その他	合計
9時台	5	1	1	2	2	1	4		16
10時台	7	8	8	8	4	8	13	1	57
11時台	15	10	17	9	10	10	19		90
12時台	14	6	14	4	7	7	10		62
13時台	2	1	3		2			1	9
14時台	7	5	5	4	3	5	7		36
15時台	12	5	6	6	4	7	14		54
16時台	12	6	6	10	5	6	10		55
17時台	8	5	8	9	5	5	8		48
18時台	9	7	7	5	6	7	8		49
19時台	5	7	7	6	5	7	6		43
20時台	5	3	6	5	6	3	5		33
21時台	1		1		1		1		4
その他	6	5	4	5	4	5	6		35
合計	108	69	93	73	64	71	111	2	591

(4) 通院

1) 通院の回数

「月に数回」以上通院しているのは、全体で37%、70歳以上で見ますと、63%の方が、「月に数回」以上通院しています。

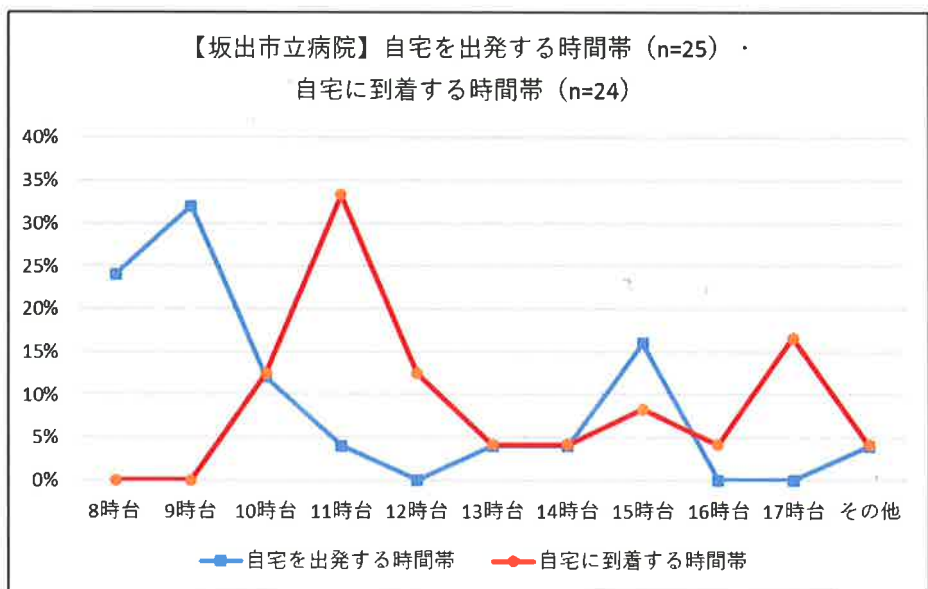
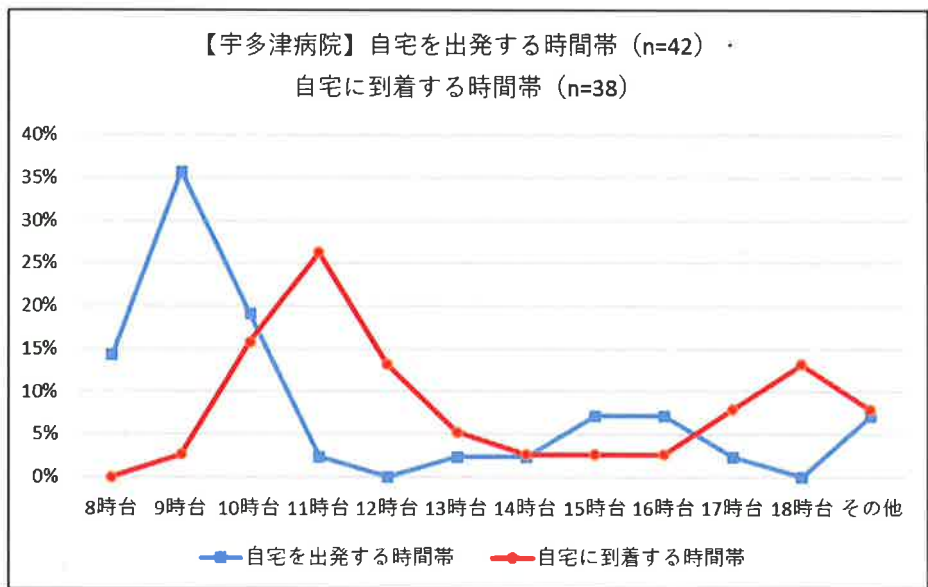


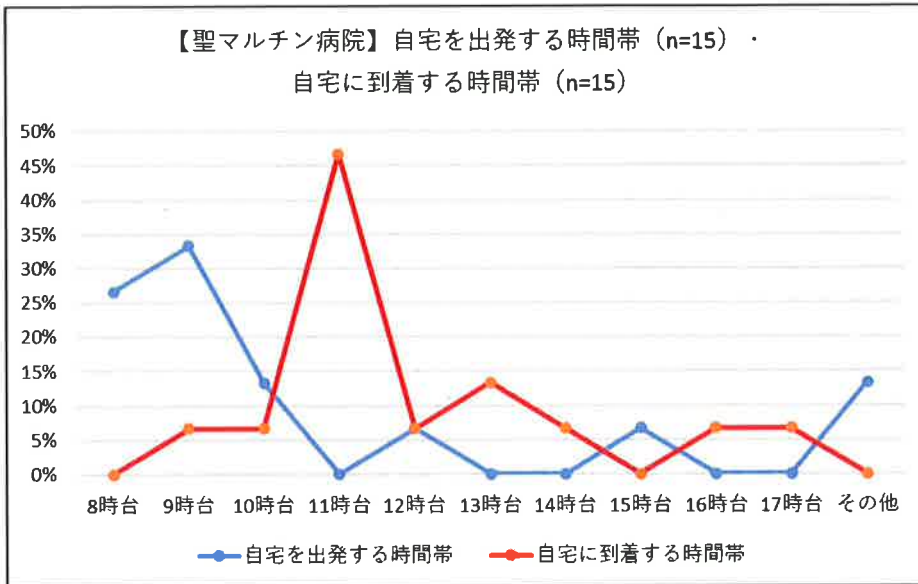
2) 通院でよく利用する医療機関（上位5位）

※複数回答を含みます。

順位	医療機関名	回答数
1	宇多津病院（宇多津町）	42
2	坂出市立病院（坂出市）	25
3	聖マルチン病院（坂出市）	15
4	くわはら医院（宇多津町）	14
	松山医院（宇多津町）	

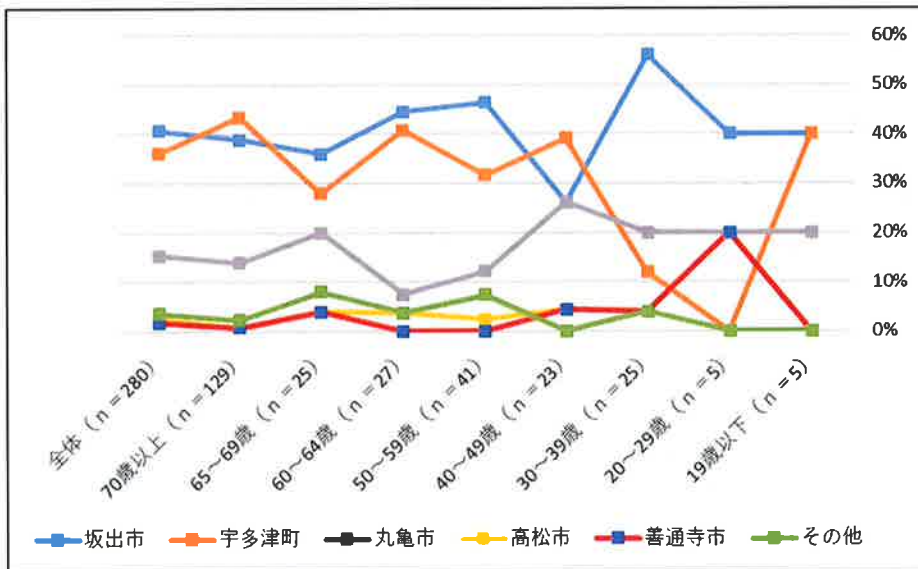
<回答数の多かった、宇多津病院、坂出市立病院、聖マルチン病院へ行く際に自宅を出発する時間、自宅に到着する時間>





市町別の通院先は、坂出市内が最も多く、40.7%となっています。次いで、宇多津町内の36%となっています。

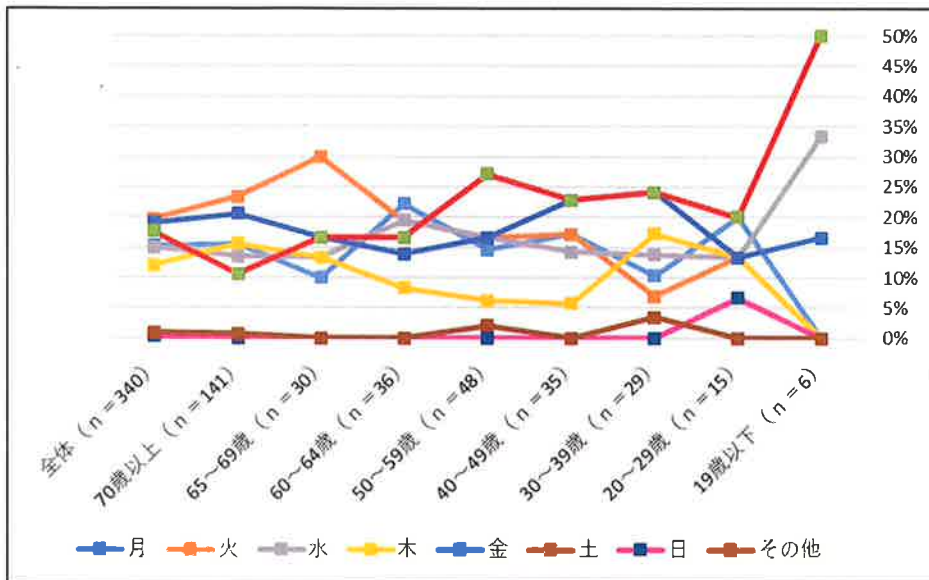
※複数回答を含みます。



3) 通院に出かけることの多い曜日 ※複数回答を含みます。

全体的に曜日による違いはそれほど見られませんが、火曜日、土曜日がやや多くなっています。

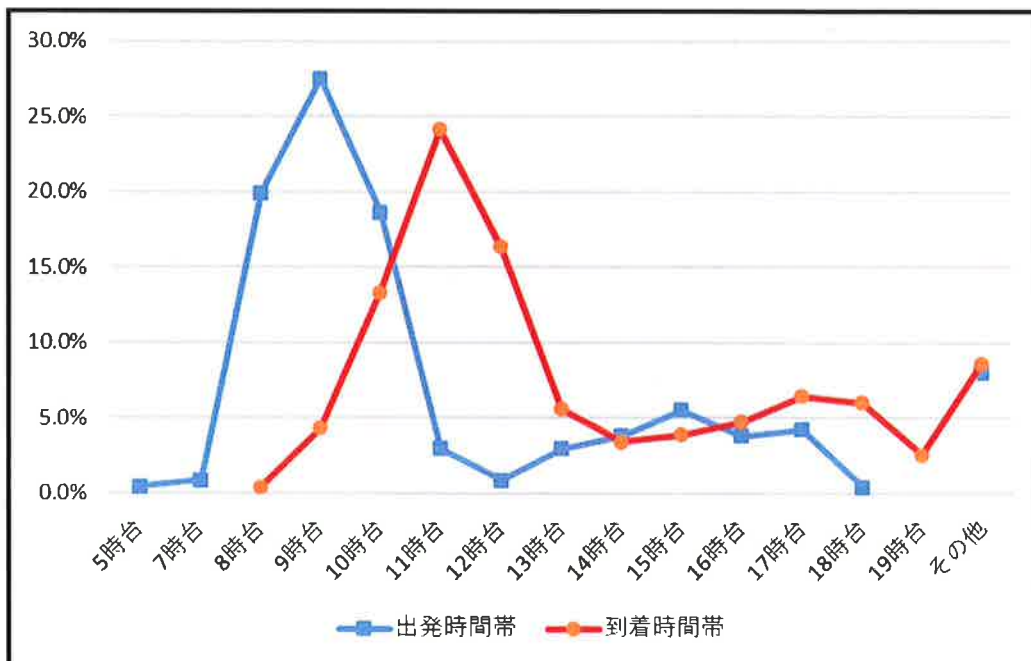
60歳未満の方は、土曜日の通院が多く、要因は、就労・就学のためと推測される。60歳以上については、平日に通院をしている人が多くなっています。



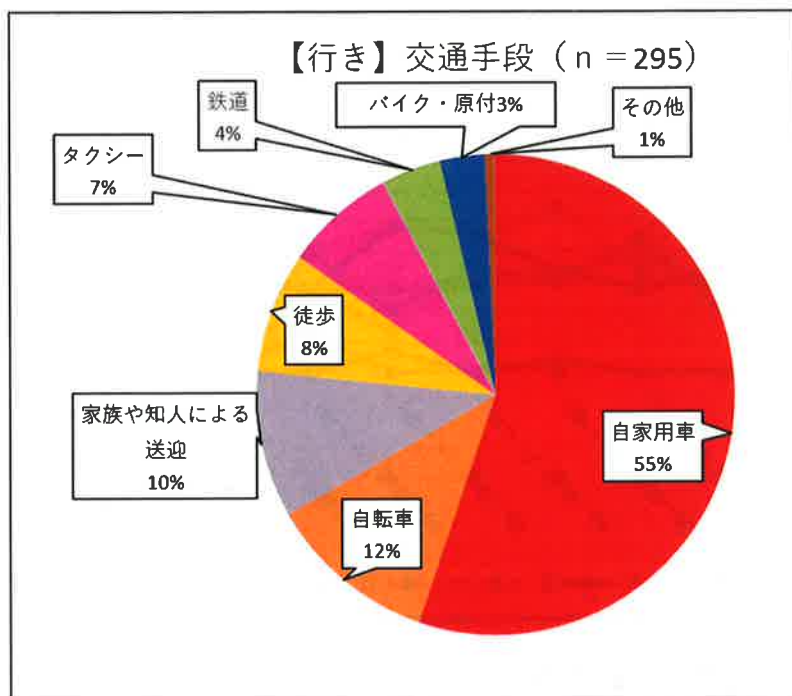
4) 通院に出かける時間帯・交通手段

自宅を出発する時間帯は、9時台が最も多く28%、次いで8時台の20%となっています。

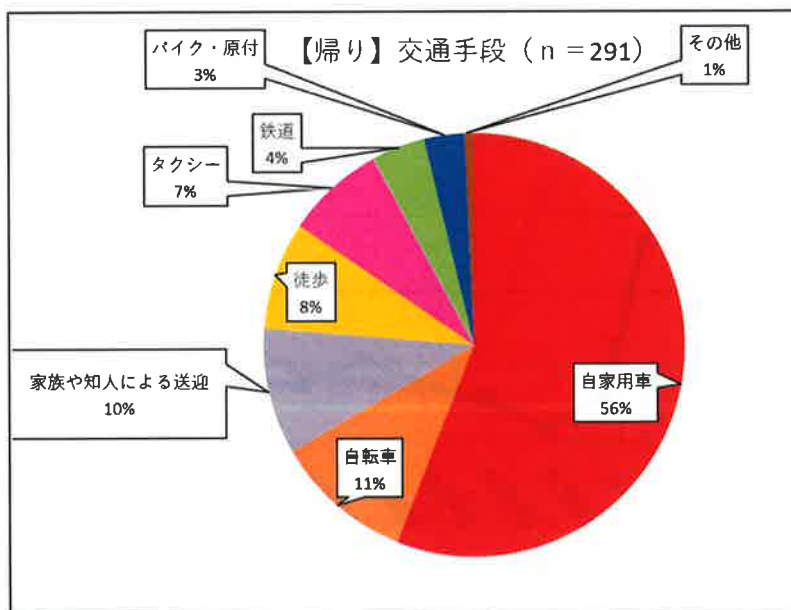
自宅に到着する時間帯は、11時台が最も多く24%、次いで12時台の16%となっています。



行きの交通手段は、「自家用車」が最も多く 55%、次いで「自転車」が 12%となっています（※複数回答を含みます）。
宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）の利用は、40代1名となっています。



帰りの交通手段は、「自家用車」が最も多く 56%、次いで「自転車」が 11%となっています（※複数回答を含みます）。
宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）の利用は、40代1名となっています。



<回答数の多かった、自家用車での坂出市内・宇多津町内への通院>

※複数回答を含みます。

坂出市内へは、9時台に自宅を出発される方が29件と最も多くなっています。

曜日別では、金・土曜日がそれぞれ17件と最も多くなっています。

坂出市内からは、11時台に自宅に到着される方が、22件と最も多くなっています。

曜日別では、金・土曜日が出発・到着ともに17件と最も多くなっています。

(行き) 出発時間帯	月	火	水	木	金	土	合計
8時台	3	1	4	1	5	5	19
9時台	8	6	2	3	4	6	29
10時台	1	2	4		3	5	15
11時台							0
12時台						1	1
14時台					1		1
15時台	1	1	1	1	1		5
17時台	1		1		2		4
その他	1		1		1		3
合計	15	10	13	5	17	17	77

(帰り) 到着時間帯	月	火	水	木	金	土	合計
8時台						1	1
9時台	1					1	2
10時台	1	2	2	1	3	3	12
11時台	5	2	4	1	5	5	22
12時台	3	4	3		5	4	19
13時台	1		1	1		2	5
14時台							0
15時台	1			1			2
16時台							0
17時台		1	1		2		4
18時台	1		1		2		4
19時台	1						1
その他	1		1			1	3
合計	15	9	13	4	17	17	75

宇多津町内では、9時台に自宅を出発される方が19件と最も多くなっています。

曜日別では、火・金曜日がそれぞれ11件と最も多くなっています。

宇多津町内では、11時台に自宅に到着される方が、19件と最も多くなっています。

曜日別では、金曜日に11件と最も多くなっています。

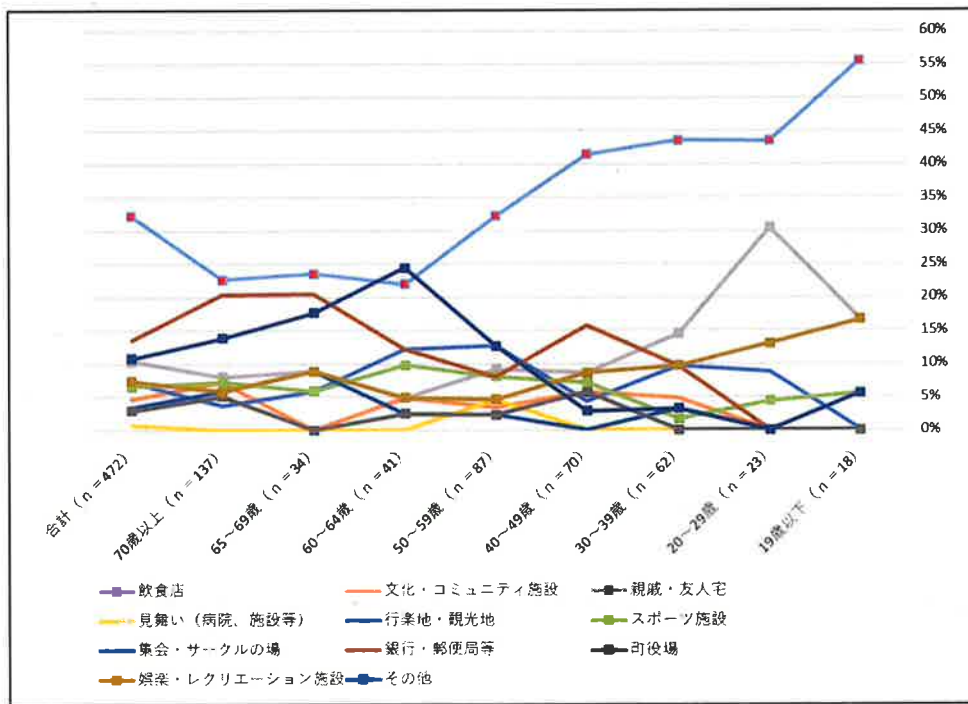
(行き) 出発時間帯	月	火	水	木	金	土	その他	合計
8時台	1		1	2		3		7
9時台	5	3	3	3	3	1	1	19
10時台	2	5	3	3	4	1		18
11時台					1			1
14時台		2		1	2	1		6
15時台	1		1			1		3
16時台	1					1		2
17時台		1			1			2
合計	10	11	8	9	11	8	1	58

(帰り) 到着時間帯	月	火	水	木	金	土	その他	合計
9時台	1			1			1	3
10時台		2	2	1	1	2		8
11時台	4	3	4	2	4	2		19
12時台	2	1	1	2	2			8
13時台					1			1
14時台		1		1	1	1		4
15時台		1	1					2
16時台	1	1		1	1	1		5
18時台	1				1	1		3
19時台		1						1
その他							1	1
合計	9	10	8	8	11	8	1	55

(5) 通勤・通学、買い物（食料品）、通院以外の移動について

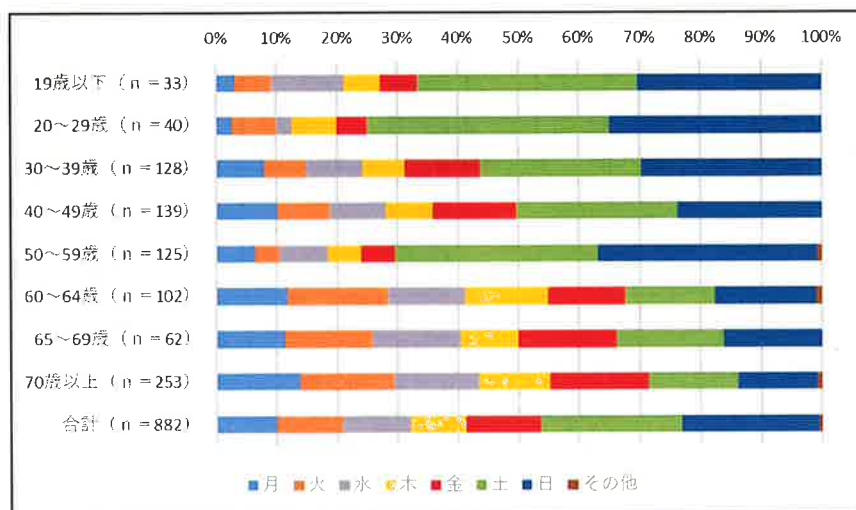
1) 通勤・通学、買い物（食料品）、通院以外の外出先で最も多い場所
※複数回答を含みます。

全体的に、飲食店に行く方が、32%と最も多くなっています。
次いで、銀行・郵便局等が14%、親戚・友人宅が11%となっています。
年代別では、若い年代ほど、飲食店の割合が高い傾向となっています。



2) 通勤・通学、買い物（食料品）、通院以外で出かけることの多い曜日
※複数回答を含みます。

全体的に、日曜日と土曜日がそれぞれ23%と多くなっています。
60歳未満の年代は、いずれも日曜日と土曜日の合計が50%以上となっています。

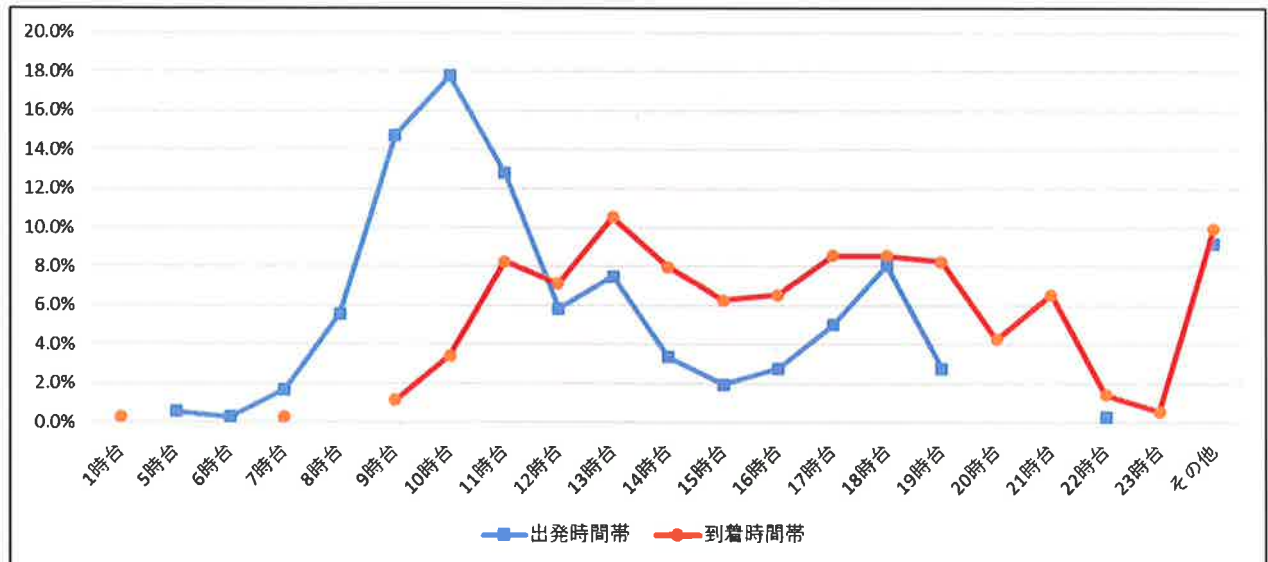


3) 通勤・通学、買い物（食料品）、通院以外で出かけることの多い時間帯・交通手段

※複数回答を含みます。

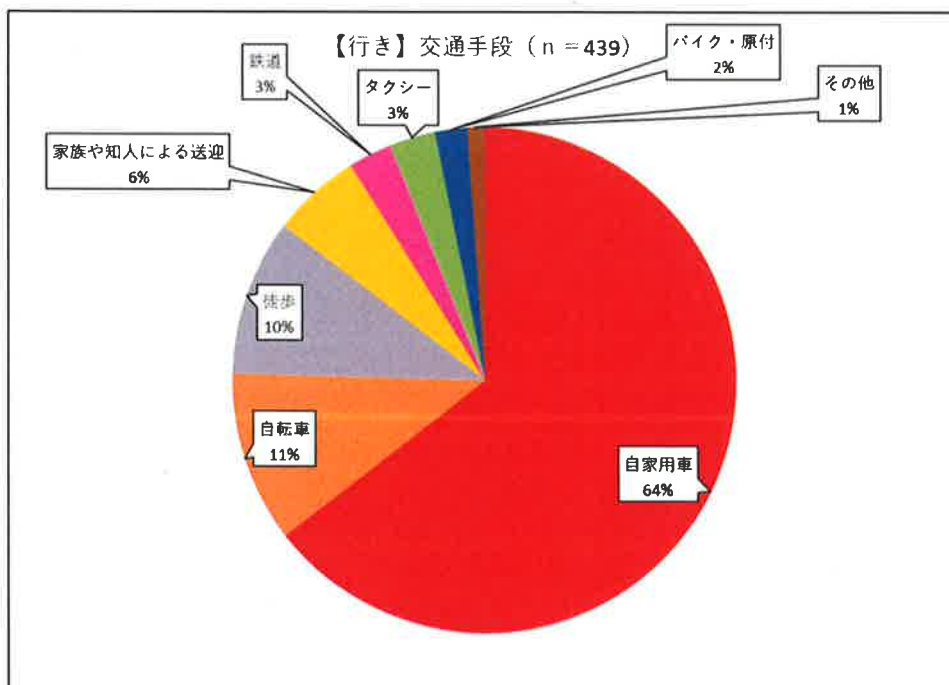
自宅を出発する時間帯は、10時台が最も多く17.8%、次いで9時台の14.7%となっています。

自宅に到着する時間帯は、13時台が最も多く10.5%、次いで11時台の8.3%となっています。



行きの交通手段は、「自家用車」が最も多く64%、次いで「自転車」が11%となっています（※複数回答を含みます）。

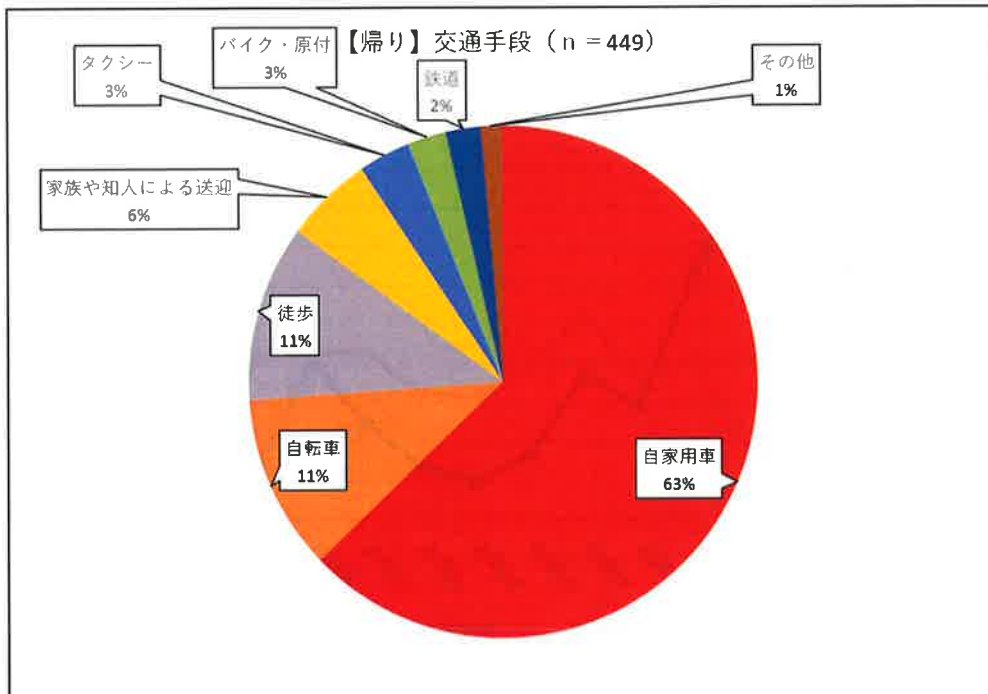
宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）の利用は、10代1名、40代2名、70代以上1名の計4名となっています。



帰りの交通手段は、「自家用車」が最も多く63%、次いで「徒歩」「自転車」がそれぞれ11%となっています（複数回答を含みます）。

宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）の利用は、10代1名、40代2名、70代以上2名の計5名となっています。

40代1名のみが、往復ともにおでかけバスを利用されています。

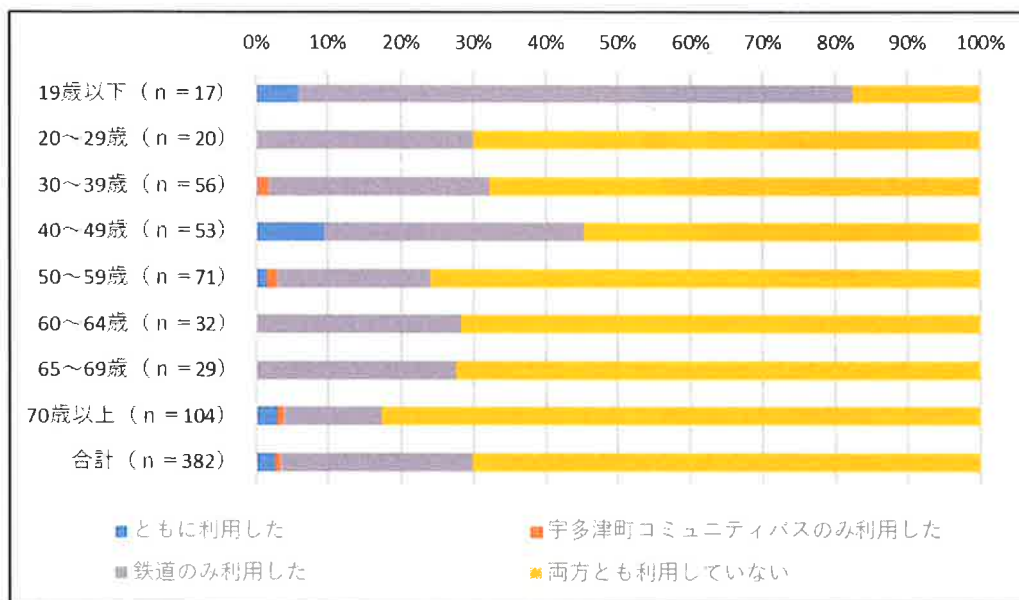


(6) 公共交通の利用について

1) 過去 30 日以内に、宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）や鉄道を利用したかどうかについて

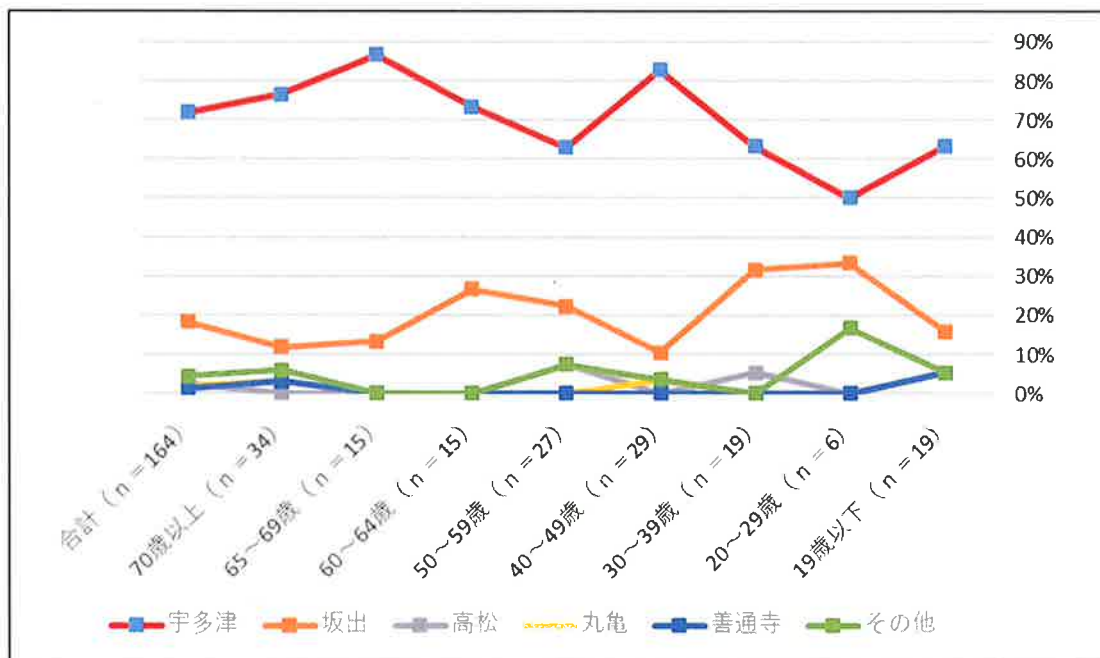
全体的に、「両方とも利用していない」が、70%と最も多くなっています。

年齢別では、19 歳以下で「鉄道のみ利用した」方が、76%と最も多くなっています。

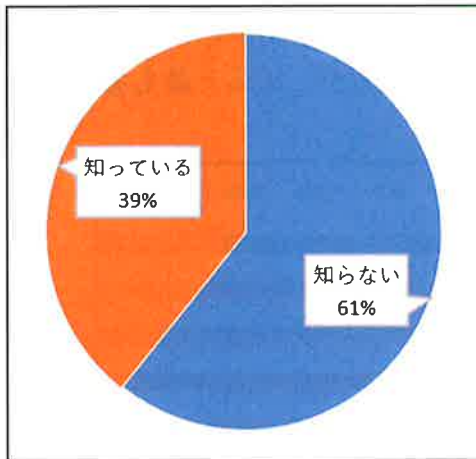


2) 利用する鉄道の駅について

J R宇多津駅を利用される方が、72%と最も多くなっています。

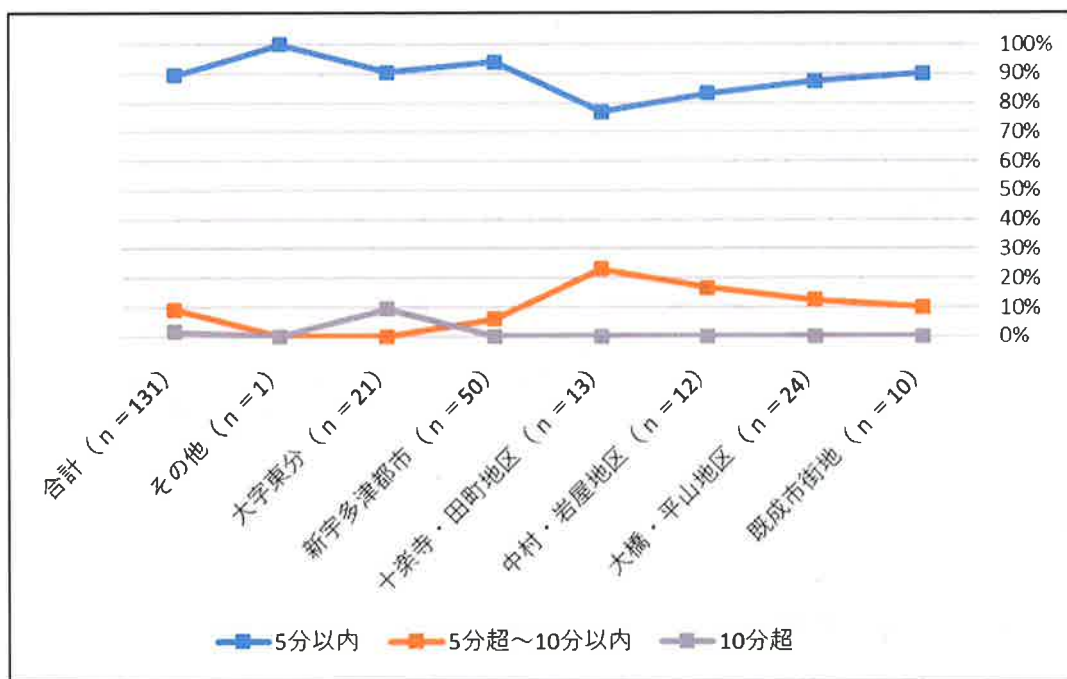


- 3) ご自宅の最寄りのバス停留所の名前をご存知かどうかについて (n=383)
「知らない」61%、「知っている」39%となっています。
回答のあった383人中、233人が「知らない」ということになります。



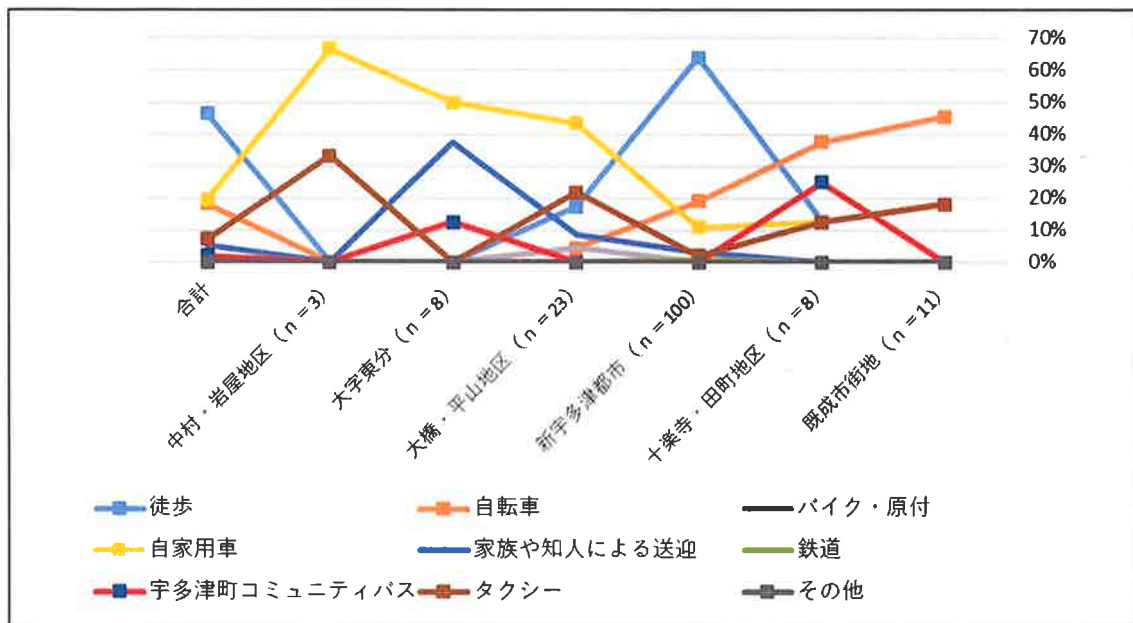
「知っている」39%のうち、自宅から停留所までの徒歩での所要時間は、全体では89%の方が「5分以内」となっています。

地区別では、全ての地区で70%超の方が「5分以内」となっています。



4) 主に利用する駅までの交通手段について (n = 155)

「新宇多津都市」エリアの方は、徒歩での移動が64%と最も高くなっています。
 「大字東分」「中村・岩屋地区」の南部エリアは、自家用車での移動が50%以上
 となっています。



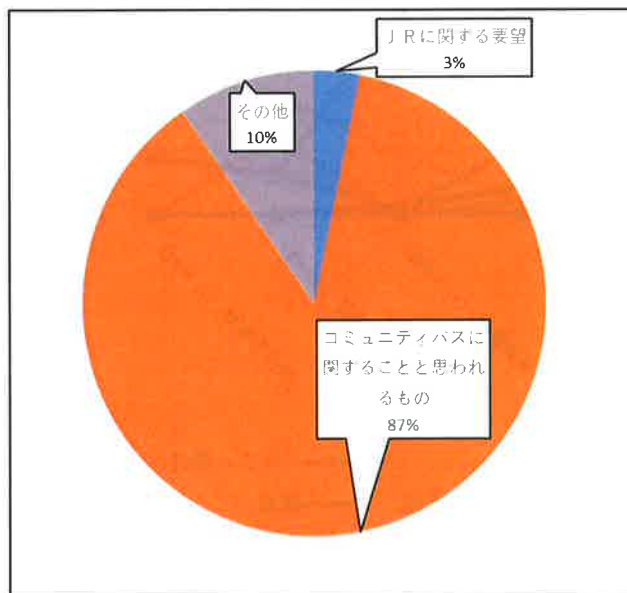
(7) 宇多津町コミュニティバスを利用して、参加してみたいと思うイベントについてお聞きしたご意見 (自由記述)

「町内のおいしいもの食べようツアー」「青の山登山」「町内のお寺、神社めぐり」など、様々なご意見をいただきました。

(8) 宇多津町における公共交通についてのご意見（自由記述）（N=156）

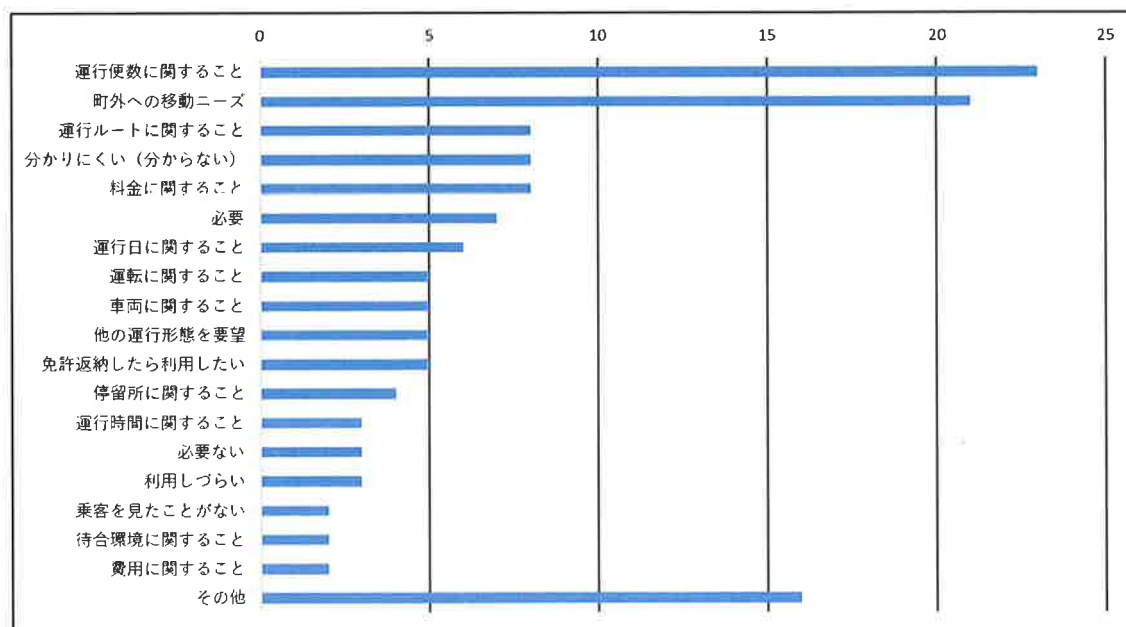
アンケートの回答のあった 400 人のうち、141 人の方から計 156 件のご意見がありました。

いただいたご意見のうち、「コミュニティバスに関することと思われるもの」が 136 件と最も多く 87%となっています。



「コミュニティバスに関することと思われるもの」136 件のうち、運行本数を増やしてほしいなどの「運行便数に関すること」が最も多く 23 件、次いで「町外への移動ニーズ」が 21 件となっています。

「その他」は、「乗ったことがない」1 人、「知らなかった」1 人などとなっています。



2 交通事業者へのアンケート調査

利用者の特性や宇多津町の公共交通の問題点、公共交通の見直しにあたって留意すべき点等を把握するため、交通サービスを提供する交通事業者に対してアンケート調査を行った。

2-1 概要

アンケート対象	・鉄道事業者 1社 ・バス事業者 2社 ・タクシー事業者 2社
調査方法	郵送による配布・回収
調査実施時期	令和5年10月5日(木) 発送 10月18日(水) 締切

2-2 アンケート調査結果のとりまとめ

2-2-1 鉄道事業者

○運行について

担い手の確保が、課題と考えている。

新規採用については、情報発信や学校訪問の強化により採用数の確保に努めている。特に工務・事業開発部門における即戦力の人材確保に向け、経験者の積極的な採用に取り組んでいる。

また近年、将来の事業運営を支える若年従業員の離職が増加傾向にあることや、経験豊富な従業員も一定数の離職が見られるなど、人材のさらなる定着化に向けた取り組みが不可欠となっているため、社会情勢や従業員の意見を踏まえつつ、勤労意欲向上のための施策の検討を進めている。

さらに、持続可能な経営体質の構築に向け、省力化・省人化に資する設備投資の推進により、生産性向上を図っている。

○宇多津町全体の公共交通について

宇多津町コミュニティバス利用者数の更なる増加に向けた取り組みが重要であると考えている。

○公共交通の確保や維持について、意識啓発による維持や利用促進の取組で必要と感じる取り組みについて

バスや鉄道の乗り方がわからない方々へのわかりやすい説明や案内の提供、公共交通利用のきっかけづくりとして、幼いうちから公共交通に親しみを持ってもらうことを目的とした体験乗車や乗り方教室の実施など、公共交通への関心を高める取り組みが必要と感じている。

○今後、鉄道事業を続けて行く上での工夫や業界の戦略について

1、Maas の考え方のもと、交通事業者が競争ではなく協調し、鉄道やバス等の各モビリティが特性を發揮し有機的に連携することにより、移動をシームレスに繋ぎ統合された1つの移動サービスとして提供することが重要。

- ・パターンダイヤ導入（わかりやすいダイヤ、2次交通が接続しやすい）
- ・モーダルミックスの取組（バスと鉄道の連携施策、牟岐線共同経営など）
- ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の導入等
- ・バス・タクシー等2次交通との乗り継ぎ利便性の向上

2、インバウンド需要への対応

○今後の宇多津町の公共交通のあり方についてのご意見

まちづくり等とも連携した、持続可能で利用しやすい公共交通網を形成していくことが必要であると感じている。

2-2-2 バス事業者

○宇多津町内におけるバスの利用状況について

- ・丸亀コミュニティバスは、JR宇多津駅を起点として、通学、四国水族館やNEWレオマワールドへの観光及び丸亀方面よりイオンタウン宇多津での買い物や映画館等への移動手段として、利用されている。
- ・リムジンバスは、ビジネス目的での利用が多い。
- ・ここ数年、コロナ禍であったが、利用者数は年々増加している。

○宇多津町全体の公共交通について

- ・全体的な公共交通の見せ方が課題であると思う。例えば、観光目的でJR宇多津駅を訪れた方に向けて、町内の公共交通の分かりやすい表示があれば、利用が増えるのではないか。
- ・香川労災病院（丸亀市）～JR丸亀駅～JR宇多津駅～マルナカスーパーセンター宇多津店～JR坂出駅等、丸亀市から宇多津町を経由し、坂出市に向かう路線があれば、便利ではないか。

○公共交通の確保や維持について、意識啓発による維持や利用促進の取組で必要と感じる取り組みについて

- ・宇多津町の特性を活かしたバスマップの作成（例：宇多津町コミュニティバスで行くことのできるお買い物マップや古街を巡るマップ等）及びそれに対応した1日フリー乗車券の導入等。
- ・四国水族館に行った後、古街等を巡れるような観光客向けの案内マップの作成。
- ・県内で開催されているイベント（県主催の利用促進キャンペーン等）にバスを出展し、公共交通のPRを行うこと。

○今後、バス事業を続けて行く上での工夫や業界の戦略について

- ・乗務員不足の状況にあるが、各停留所別、時間帯別の乗降データを基に運行の効率化（例えば、利用者数の多い路線の増便、利用者の少ない日の減便等）を検討し、路線維持を図っている。
- ・観光施設とタイアップした企画乗車券等を取り入れ、生活交通以外での利用者を増やすための取り組み等をしている。

○今後の宇多津町の公共交通のあり方についてのご意見

- ・様々な目的で近隣市町（坂出市、丸亀市）との行き来ができるようにするためには、幹となる路線（JR及び駅を中心に市町を細かく移動できるコミュニティバス・路線バス等）が必要と思う。各々の市町は、医療、観光、産業、教育等が充実していると思われるので、そこをうまく繋ぐことのできる公共交通のネットワークを構築できれば、若い世代からお年寄りまで住みやすい町になる。
- ・宇多津町コミュニティバスについては、利用者の立場からすると、1時間に1本運行してほしいところではないか。

2-2-3 タクシー事業者

○宇多津町内におけるタクシーの利用状況について

- ・輸送人員は減少しているが、今年3月の運賃改定による増収のため、ここ数ヶ月は、コロナ禍前の売上を超えている。

○宇多津町全体の公共交通について

- ・宇多津町の福祉タクシー券をデジタル化できないでしょうか。印刷代及び事務経費の削減に繋がると思います。
- ・タクシー事業を行うにあたって、ドライバー不足は今後ますます深刻になることが予想される。

○公共交通の確保や維持について、意識啓発による維持や利用促進の取組で必要と感じる取り組みについて

- ・住民の方に対しての受益者負担に対する啓発。
- ・付加価値の高いサービスの提供。
- ・自治体を越えたサービスの提供。

○今後、バス事業を続けて行く上での工夫や業界の戦略について

タクシーは労働集約産業のため、いい人材の確保が必要であり、業界の将来のためには、DX及びGXの推進が不可欠であると考えている。AIオンデマンドシステム導入も最近のトレンドである。

○今後の宇多津町の公共交通のあり方についてのご意見

当社は、配車アプリGOを運用しており、子育て世代のウエートの高い宇多津町では、更に充実させることが好循環につながると思う。利用者のターゲット層を明確にすることが重要だと思う。

本町が抱える地域公共交通に関する問題・課題

地域の状況や各種調査結果を踏まえて整理した本町が抱える地域公共交通に関する課題は以下のとおりです。

課題①：町外への移動をスムーズに行うための公共交通の効率化

これまでに住民等からいただいた要望で多いのは、隣接する丸亀市・坂出市の医療機関等への移動手段の整備でした。

住民アンケート調査結果からも、通院でよく利用する通院先は、坂出市内が最も多く41%、また、県内（町外）への通勤・通学先は、丸亀市31%、坂出市25%と高く、町コミュニティバスから他の公共交通機関への乗り継ぎに期待されています。

そのため、町外への移動をスムーズに行うためには、町コミュニティバスの運行ルート・時刻表の設定や他市町を含む公共交通機関の連携を進め、利便性向上を図ることが課題です。

課題②：運転免許を返納しても移動できる手段の確保

住民アンケート調査結果での「70歳以上で運転免許をお持ちの方の返納についての意向」の問いに対し、「現在は返納を考えていない」という方が53%、「徒歩以外の自力で移動する手段の有無」の問いに対しては、自家用車が55%と自分で運転をしての移動を望まれています。

それに伴い、「通勤・通学」、「買い物（食料品）」、「通院、通勤・通学、買い物（食料品）、通院以外の移動」のいずれにおいても自家用車での移動が過半数を占めています。

逆に、65歳以上の方で、年間約53.8人の方（平成30年から令和5年までの平均）が、運転免許証を自主返納されており、今後は高齢化が進むにつれ、自家用車に替わる移動手段の必要性が求められてくるでしょう。

課題③：移動手段が徒歩以外に無いにもかかわらず、コミュニティバスを全く利用していない住民に対する対応

住民アンケート調査結果で、「主に利用する駅までの交通手段について」の問いに対し、北部エリアの「新宇多津都市」の方は、徒歩での移動が64%と最も高くなっているのに対し、「大字東分」「中村・岩屋地区」の南部エリアは、自動車での移動が50%以上となっています。また、町内の医療機関は、令和5年5月現在で17か所ありますが、新宇多津都市を中心とした北部エリアに多く、南部エリアからの移動手段の整備が必要です。他に、「行きはバスに乗れても、帰りは時間が合わない」「バスの待ち時間が長い」等の声をいただいています。

課題④：公共交通が身近に感じられる関心度向上や、公共交通利用促進に向け利用方法や利用シーンなどの広報活動等への継続した取り組み

町では、公共交通の利用促進に向けて、宇多津町コミュニティバス等の運行ルート、時刻表、利用状況、乗り方教室の案内等について、広報、町ホームページ及び町内施設でのパンフレットの配布等で周知を図っていますが、認知度・関心が低い状況です。

また、住民アンケート調査の結果、過去30日以内に、宇多津町コミュニティバス（みんなのおでかけバス）及び鉄道の両方を利用していない人が70%と高くなっていること、61%の方がご自宅の最寄りのバス停留所の名前を知らないと回答していることから、認知度・関心が低いことが分かります。

そのため、公共交通が町民の移動手段の選択肢の一つとして捉えられることを目指して、広報活動等の継続は言うまでもなく、住民の声に耳を傾け、公共交通に何を求めているのかを調査、検討し、より身近な存在になれるよう取り組むことが課題です。

基本方針・目標

前述した地域公共交通の課題を受けて、本計画の基本方針・目標を以下のとおり設定します。

基本方針

利便性が高く、多様化するニーズに対応した利用しやすい
公共交通の実現

課題①：

町外への移動をスムーズに行うための公共交通の効率化

目標①：

公共交通の連携により、乗り継ぎの利便性の向上を図ります。

課題②：

運転免許を返納しても移動できる手段の確保

目標②：

特に、高齢者が自動車の運転などを余儀なくしなくてもよい、自動車から公共交通への転換、また安心・安全の確保を進めていきます。

課題③：

移動手段が徒歩以外に無いにもかかわらず、コミュニティバスを全く利用していない住民に対する対応

目標③：

町内主要施設へのアクセスの確保と公共交通を普段から利用していない住民への適切なアプローチを行っていきます。

課題④：

公共交通が身近に感じられる関心度向上や、公共交通利用促進に向け利用方法や利用シーンなどの広報活動等への継続した取り組み

目標④：

公共交通が町民の移動手段として選ばれる公共交通の確立を目指して、公共交通のサービス内容の向上や、公共交通利用促進に向け、わかりやすさの改善、利用に対する捉え方を変えて、違った感じ方を持っていただくよう、広報活動等に継続して取り組みます。

目標達成のための施策

1) 施策概要

本計画の目標を踏まえ、本計画では今後取り組むべき事業・検討項目を下表のとおり整理しました。

目標	事業・検討項目
<p>目標① 公共交通の連携により、乗り継ぎの利便性の向上を図ります。</p>	<p>事業① 交通圏を踏まえた公共交通ネットワークの再構築（運行ルートや時刻表の見直し等）。</p>
<p>目標② 特に、高齢者が自動車の運転などを余儀なくしなくてもよい、自動車から公共交通への転換、また安心・安全の確保を進めていきます。</p>	<p>事業② 運転免許返納後の高齢者等に対する公共交通利用促進策の実施</p>
<p>目標③ 町内主要施設へのアクセスの確保と公共交通を普段から利用していない住民への適切なアプローチを行っていきます。</p>	<p>事業③ 移動困難者の把握及び希望者に対する支援の実施</p>
<p>目標④ 公共交通が町民の移動手段として選ばれる公共交通の確立を目指して、公共交通のサービス内容の向上や、公共交通利用促進に向け、わかりやすさの改善、利用に対する捉え方を変えて、違った感じ方を持っていただくよう、広報活動等に継続して取り組みます。</p>	<p>事業④ 公共交通利用促進のための周知・広報等の実施</p>
	<p>事業⑤ インターネット等を活用したコミュニティバス情報の提供・管理（バスロケーションシステムの継続等）</p>

2) 事業内容

それぞれの目標に示した取り組むべき事業に関する内容を以下に示します。

事業①交通圏を踏まえた公共交通ネットワークの再構築（運行ルートや時刻表の見直し等）。

【事業概要】

- ・コミュニティバスと他の公共交通機関の乗り継ぎに配慮した時刻表の設定に努め、よりスムーズな移動環境を整備します。
- ・コミュニティバスの利用は、高齢者のみならず、自律的な移動手段を持たない人達の移動を支える重要な役割も持っています。
- ・移動需要、利用状況等に合わせ、地域の実態に応じた路線の実現に向け、コミュニティバスの運行ルートやバス停位置、ダイヤ等を適宜見直しをするよう努めます。

【実施主体】 交通事業者、宇多津町

事業② 運転免許返納後の高齢者等に対する公共交通利用促進策の実施

【事業概要】

- ・現在使っている交通手段（自転車や自動車）から公共交通への転換を図る必要があります。また、送迎交通からの転換も忘れてはいけません。「公共交通も悪くない」「一人で外出できる」と転換してもらうための周知を行うとともに、高齢者の方が公共交通の利用に対し、何を望んでいるのか（乗りたいが、乗り方が分からない等）について、地域の集まりの場で、継続的な聞き取りを実施し、ニーズの把握を行う。

【実施主体】 交通事業者、宇多津町

事業③ 移動困難者の把握及び希望者に対する支援の実施

【事業概要】

- ・移動が困難な人たちは、外出が少なくなる傾向にあります。公共交通を利用し、一人ででも外出できるようになると、これまで潜在化していた外出が顕在化し、実現することができます。
- ・年齢別、地域別など対象を絞ってアンケートを行い、移動が困難で、全く利用したことのない方を把握した上で、乗り方教室を実施し、町内のお買物コース等を実際に体験していただき、公共交通を利用して外出できるライフスタイルに転換を促します。

【実施主体】 交通事業者、宇多津町

事業④ 公共交通利用促進のための周知・広報等の実施

【事業概要】

- ・高齢者に対象を絞ってアンケートを行い、バスを全く利用したことの無い方を把握し、継続的にアンケートを行い、自宅の近くの停留所の場所等が分かるチラシを配布する等、具体的にバスを利用するイメージを持ってもらえるような取組を促進します（自宅近くの停留所を知ってもらう。天候等に左右されず、通勤・買い物等ができるなど情報提供を行う）。
- ・乗り方や乗り継ぎ時間等について、窓口等で相談のあった方に、説明の上、マイ時刻表に乗降停留所・時刻を記入し、お渡しすることで、利用促進に繋げる。

【実施主体】 交通事業者、宇多津町

事業⑤インターネット等を活用したコミュニティバス情報の提供・管理（バスロケーションシステムの継続等）

【事業概要】

- ・町や各交通事業者の web サイトにおいて、バスロケーションシステムの継続等、公共交通に関する情報発信を強化します。
- ・GTFS 形式のデータ整備及び Google Map 等への情報掲載を継続します。
- ・町の広報紙等において、公共交通に関する記事を掲載します。

【実施主体】 交通事業者、宇多津町

3) 事業スケジュール

事業名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①交通圏を踏まえた公共交通ネットワークの再構築 (運行ルートや時刻表の見直し等)	→		検討・随時実施		→
②運転免許返納後の高齢者等に対する公共交通利用促進策の実施					→
			検討・随時実施		
③移動困難者の把握及び希望者に対する支援の実施					→
			検討・随時実施		
④公共交通利用促進のための周知・広報等の実施					→
			検討・随時実施 (マイ時刻表については、継続実施)		
⑤インターネット等を活用したコミュニティバス情報の提供・管理(バスロケーションシステムの継続等)					→
			継続実施		

4) 評価指標

指標	現況値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	指標の詳細
①宇多津町コミュニティバス利用者数	7,413人	12,000人	宇多津町コミュニティバスの年間乗降者数の合計
②宇多津町コミュニティバスの収支率	7.1%	20.0%	宇多津町コミュニティバスの収支率
③コミュニティバスの乗り方教室開催回数	実績なし	2回	コミュニティバスの乗り方教室の年間開催回数
④コミュニティバスの乗り方教室の参加人数	実績なし	12人	コミュニティバスの乗り方教室1回あたりの参加人数
⑤利用回数の推移	実績なし	(アンケート対象者の平均利用回数) 1回以上	今後実施するアンケートにてバスを利用したことのない人を把握し、再度実施するアンケートにて利用状況の推移を把握

5) 評価指標及び目標値の考え方

指標	評価指標の考え方	目標値の考え方
①宇多津町コミュニティバス利用者数	コミュニティバスの利用者がどれだけ増えているのかを評価	令和2年10月の運行開始以降、増加傾向であることを考慮し、1ヶ月1,000人×12ヶ月=12,000人と設定
②宇多津町コミュニティバスの収支率	コミュニティバスの収支状況を評価	令和2年10月の運行開始以降の改善傾向を維持するとして設定
③コミュニティバスの乗り方教室開催回数	コミュニティバスの利用啓発活動への取り組みを評価	半年に1回の開催を目標として設定
④コミュニティバスの乗り方教室の参加人数	コミュニティバスの利用啓発活動への取り組みを評価	コミュニティバスの乗車定員を目標として設定
⑤利用回数の推移	コミュニティバス利用したことのない人の利用の推移を評価	利用したことのない人の利用の推移を想定しているため、まずは1回以上を目標として設定

6) 評価手法

本計画に掲げる施策を着実に実施し、目指す将来の公共交通の姿を実現するため、各施策の実施状況や評価指標の達成状況を定期的に把握し、計画の見直し等を通じて改善を図るPDCAサイクルを実施していきます。

PDCAサイクルの運用にあたっては、宇多津町地域公共交通活性化協議会で計画の達成状況を評価・検証し、必要に応じて取り組み内容やスケジュールを見直します。

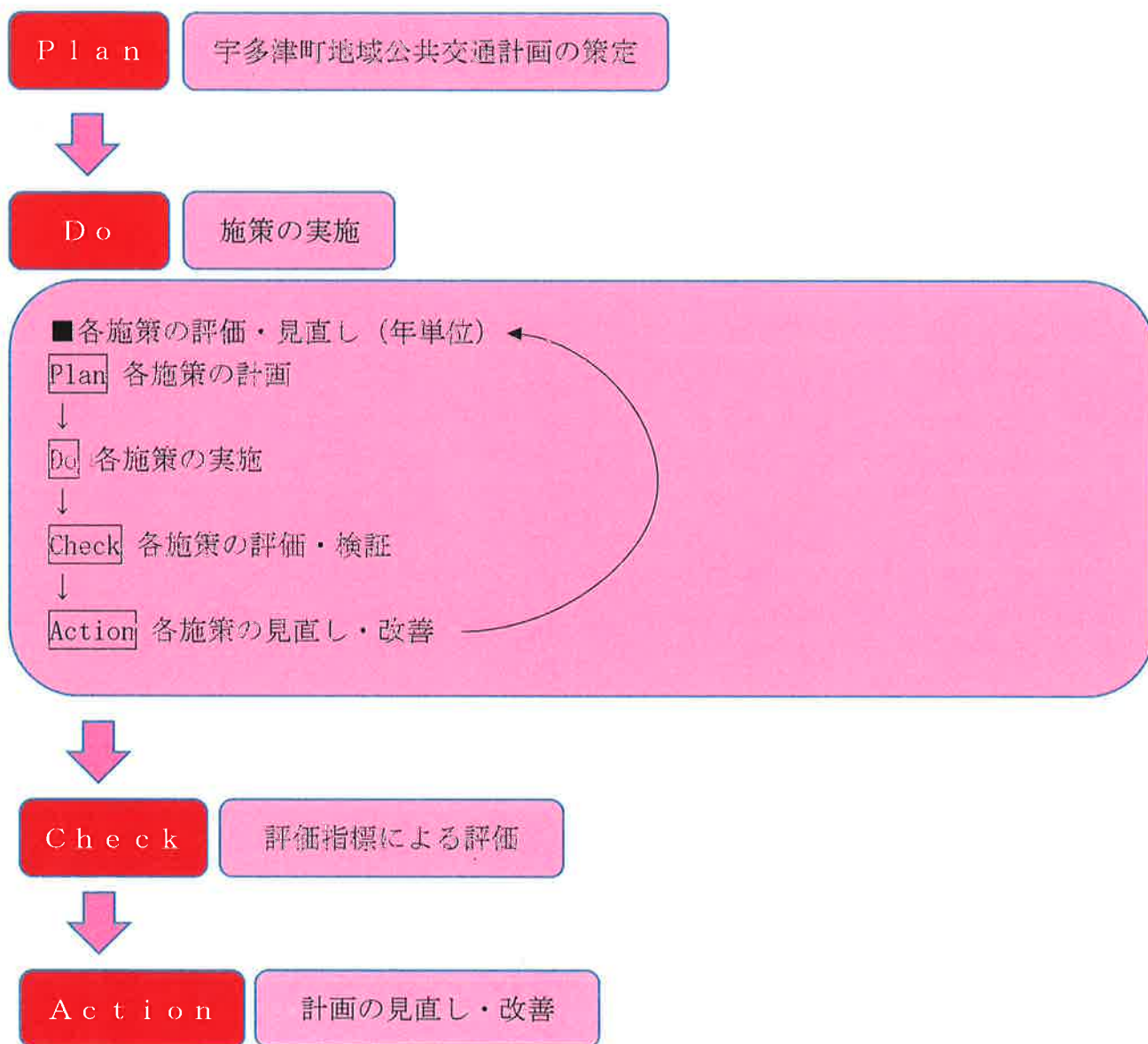


図 PDCAサイクルのイメージ

